

国保匝瑳市民病院の外部医療環境及び
内部経営状況の分析

目 次

1. 外部医療環境.....	1
(1) 人口（香取海匠医療圏+横芝光町）	1
(2) 医療機能	7
(3) 患者動向	15
2. 内部経営状況.....	20
(1) 経営状況	20
(2) 財政負担の状況	34

1. 外部医療環境

(1) 人口（香取海匝医療圏＋横芝光町）

① 現在の人口構造

年齢3区分の内訳をみると、千葉県全体の老年人口割合が19.1%であるのに対し、香取海匝医療圏（＋横芝光町）は25.5%と高く、千葉県内では安房医療圏に次いで、高齢化が進んでいる医療圏である。

■ 香取海匝医療圏＋横芝光町の現在人口（平成20年4月1日現在）

	総数	(再掲) 年齢3区分別人口					
		実数 (人)			割合 (%)		
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
千葉県	6,199,089	833,409	4,184,741	1,180,939	13.4	67.5	19.1
千葉	938,330	131,495	635,227	171,608	14.0	67.7	18.3
東葛南部	1,680,956	235,152	1,166,987	278,817	14.0	69.4	16.6
東葛北部	1,325,559	178,502	902,577	244,480	13.5	68.1	18.4
印旛	709,681	96,359	489,995	123,327	13.6	69.0	17.4
香取海匝 (注)	341,444	41,063	213,390	86,991	12.0	62.5	25.5
銚子市	74,734	8,219	46,370	20,145	11.0	62.0	27.0
旭市	70,609	9,474	45,123	16,012	13.4	63.9	22.7
匝瑳市	41,620	5,084	25,894	10,642	12.2	62.2	25.6
香取市	87,915	10,394	55,061	22,460	11.8	62.6	25.5
神崎町	6,788	842	4,251	1,695	12.4	62.6	25.0
多古町	17,020	1,874	10,317	4,829	11.0	60.6	28.4
東庄町	16,232	1,943	10,154	4,135	12.0	62.6	25.5
横芝光町	26,526	3,233	16,220	7,073	12.2	61.1	26.7
山武長生夷隅	446,119	53,308	285,137	107,674	11.9	63.9	24.1
安房	142,529	15,722	81,905	44,902	11.0	57.5	31.5
君津	329,399	43,443	215,900	70,056	13.2	65.5	21.3
市原	285,072	38,365	193,623	53,084	13.5	67.9	18.6

(注) この表では、香取海匝医療圏に横芝光町を含めている。

(出典：千葉県「平成20年度千葉県年齢別・町丁字別人口調査」)

② 将来の人口構造

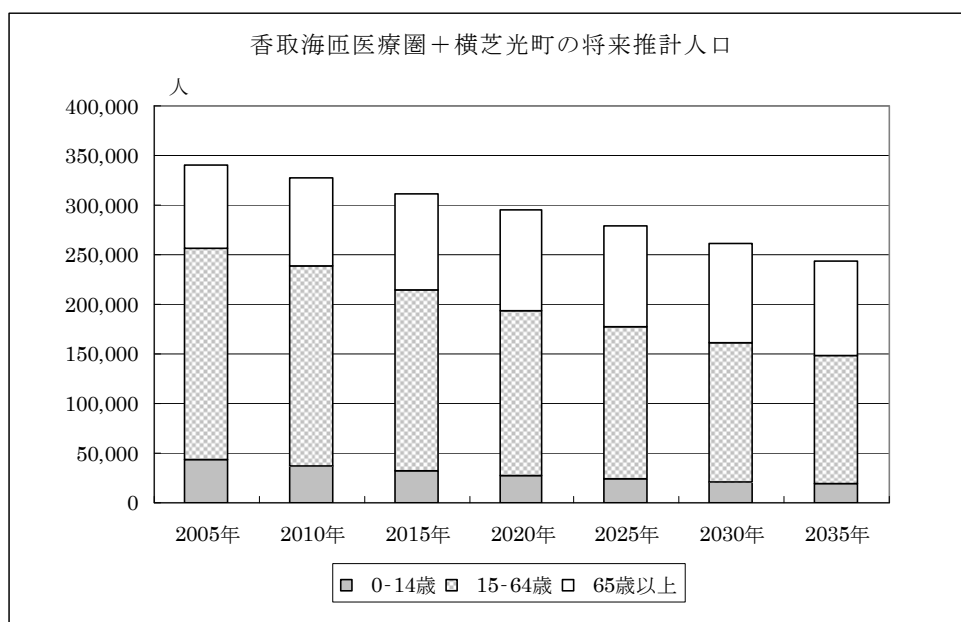
国立社会保障・人口問題研究所の市町村別将来推計人口（平成20年12月、5年単位で推計）によると、香取海匠医療圏（+横芝光町）の人口は、一貫して減少することが予想されている。

年齢3区分の内訳については、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は一貫して減少する一方で、老年人口（65歳以上）は2020年まで増加した後、2025年からは減少することが見込まれているが、2035年には人口に占める割合が38.8%と予想されるなど、高齢化の進展は著しい。

■ 香取海匠医療圏+横芝光町の将来推計人口（各年10月1日現在）

（単位：人）

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
総数							
0 - 14歳	43,338	37,622	31,873	27,098	23,652	21,595	20,001
15 - 64歳	213,187	201,207	183,154	166,777	153,214	140,187	127,836
65歳以上	84,354	88,432	97,040	101,524	101,424	99,299	95,029
計	340,883	327,262	312,062	295,401	278,290	261,088	242,865
内訳							
銚子市	75,020	70,725	66,422	61,851	57,282	52,831	48,393
旭市	70,643	69,216	67,195	64,796	62,242	59,585	56,592
匝瑳市	42,086	40,871	39,304	37,563	35,750	33,917	31,893
香取市	87,332	83,310	79,054	74,453	69,705	64,923	59,866
神崎町	6,705	6,576	6,364	6,110	5,836	5,547	5,232
多古町	16,950	16,328	15,599	14,795	13,994	13,186	12,327
東庄町	16,166	15,206	14,259	13,272	12,262	11,246	10,177
横芝光町	25,981	25,030	23,865	22,561	21,219	19,853	18,385



（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月））

③ 将来の推計患者数

ア 国立社会保障・人口問題研究所の市町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月）、厚生労働省の患者調査（平成 17 年度）を基に、将来の患者数を推計したものが以下である。

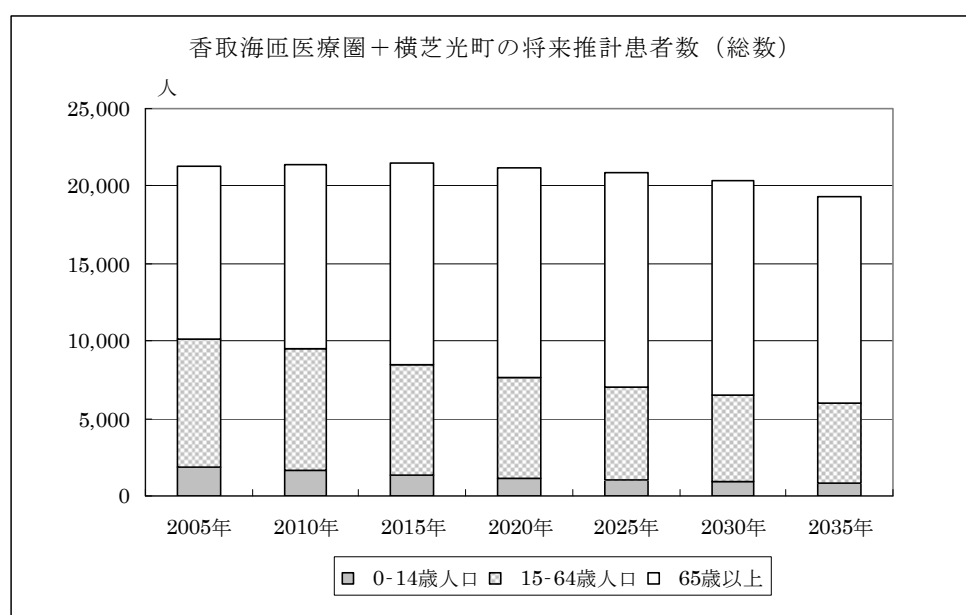
全体の人口は減少する一方で、高齢化が進展することから、入院患者数は 2030 年まで増加するものの、外来患者数は一貫して減少することが予想される。

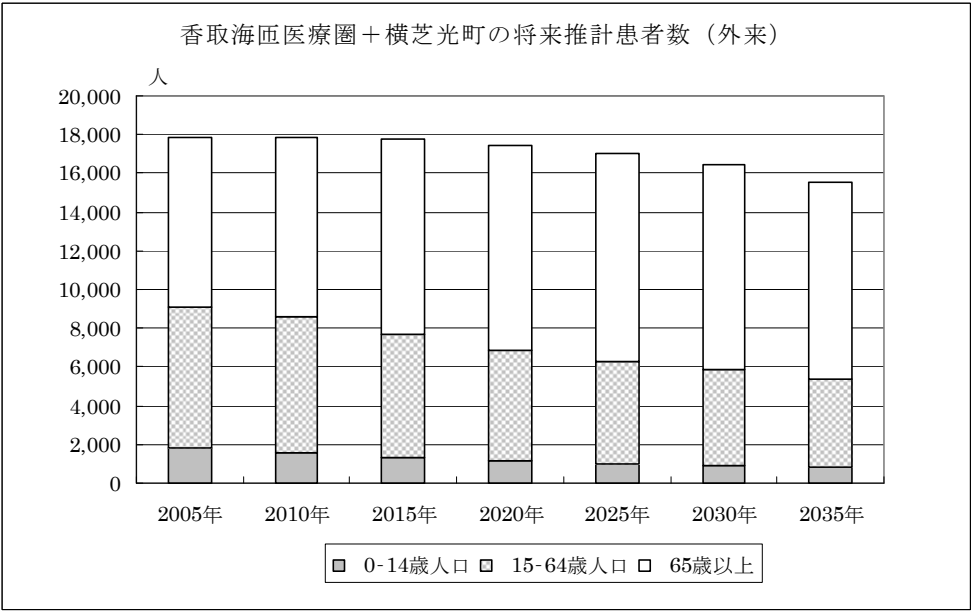
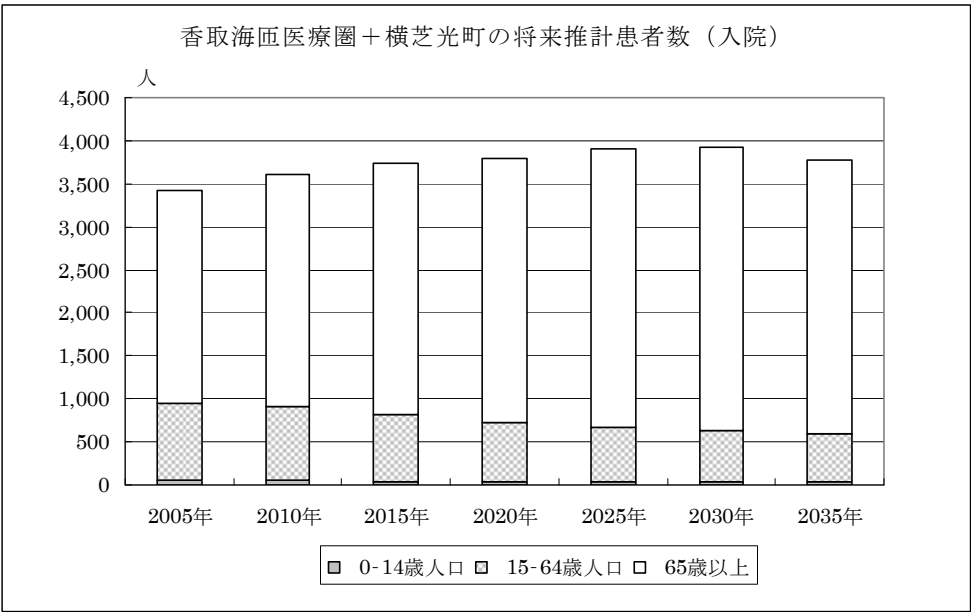
■ 香取海匠医療圏＋横芝光町

（単位：人）

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
入院							
0 - 14歳	64	55	46	40	36	33	30
15 - 64歳	882	858	766	694	643	607	566
65歳以上	2,477	2,704	2,925	3,055	3,231	3,284	3,176
計	3,423	3,616	3,737	3,789	3,910	3,924	3,772
外来							
0 - 14歳	1,796	1,553	1,311	1,121	987	905	837
15 - 64歳	7,333	7,048	6,353	5,759	5,312	4,943	4,559
65歳以上	8,702	9,219	10,079	10,539	10,692	10,577	10,152
計	17,831	17,819	17,742	17,420	16,991	16,426	15,548
合計							
0 - 14歳	1,860	1,608	1,357	1,161	1,022	938	867
15 - 64歳	8,215	7,906	7,119	6,454	5,955	5,550	5,125
65歳以上	11,179	11,922	13,004	13,594	13,923	13,862	13,328
計	21,254	21,436	21,480	21,209	20,901	20,350	19,320

（国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成 20 年 12 月）、厚生労働省「平成 17 年患者調査」を基に算出）





イ 同様に匝瑳市のみの将来患者数を推計したものが以下である。

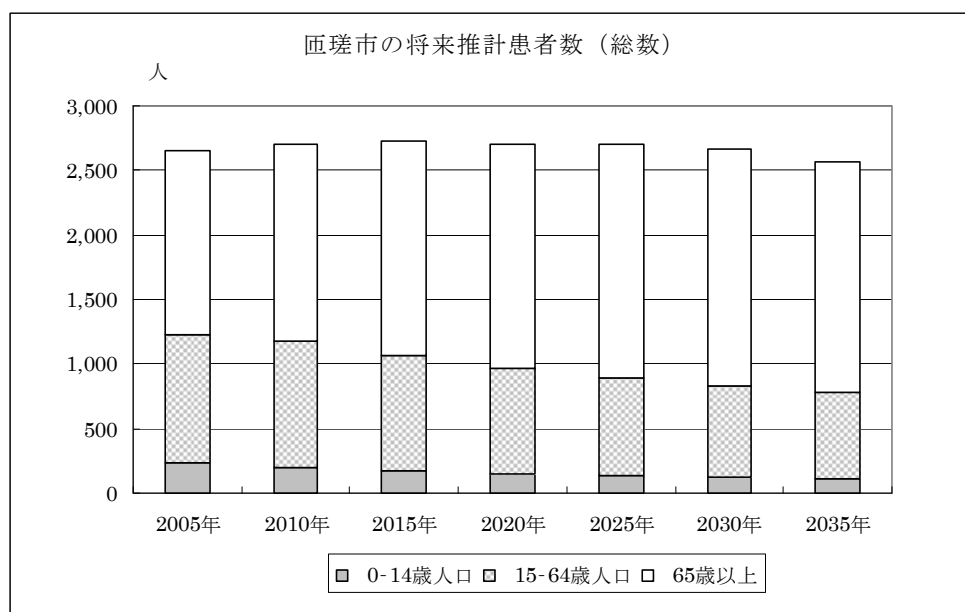
入院患者数は香取海匠医療圏および横芝光町同様、2030年まで増加、その後減少に転ずる一方、外来患者数については、2015年まで増加し、その後減少することが予想されている。

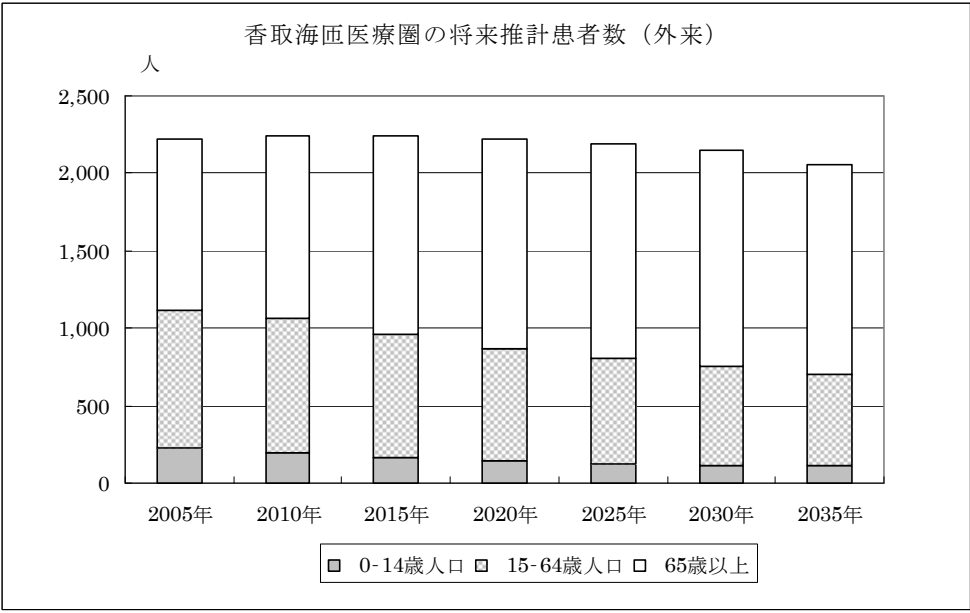
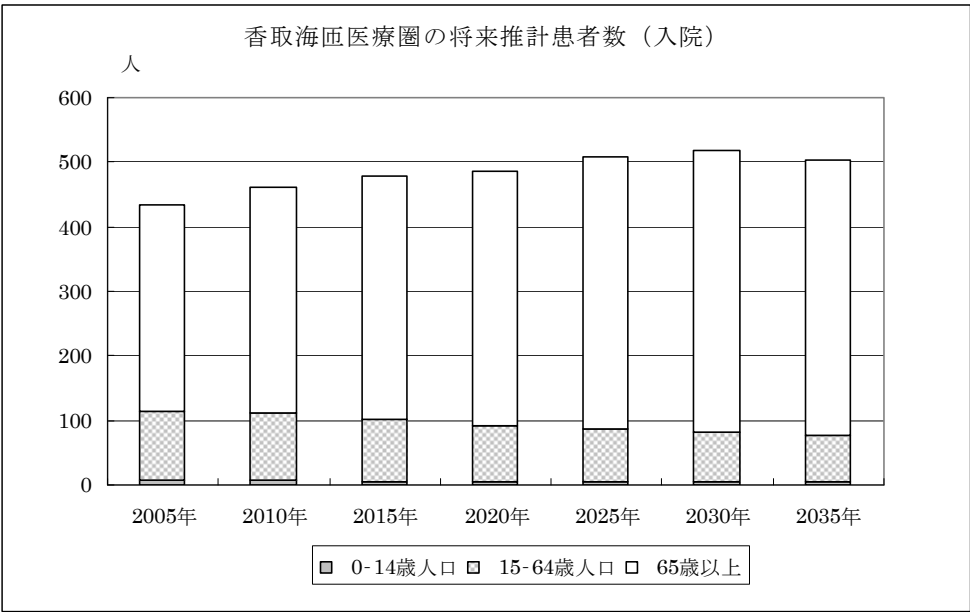
■ 匝瑳市

(単位：人)

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
入院							
0 - 14歳	8	7	6	5	5	4	4
15 - 64歳	106	106	95	88	82	78	74
65歳以上	320	349	378	393	422	435	427
計	434	462	478	486	509	518	504
外来							
0 - 14歳	224	196	168	144	127	118	109
15 - 64歳	889	872	791	728	676	636	593
65歳以上	1,106	1,168	1,284	1,348	1,388	1,395	1,354
計	2,219	2,237	2,244	2,220	2,190	2,148	2,057
合計							
0 - 14歳	232	203	173	149	132	122	113
15 - 64歳	996	978	887	816	757	714	667
65歳以上	1,426	1,518	1,662	1,741	1,810	1,830	1,781
計	2,653	2,699	2,722	2,706	2,699	2,666	2,561

(国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成20年12月)、厚生労働省「平成17年患者調査」を基に算出)





(2) 医療機能

① 病院数

香取海匠医療圏(+横芝光町)の人口10万人当たり病院数は一般病院5.79、精神病院0.87といずれも千葉県全体を上回っている。

■ 人口10万人当たり病院数

		施設数総数				地域医療支援病院(再掲)	救急告示病院(再掲)	
		精神病院	結核療養所	一般病院総数	療養病床を有する病院(再掲)			
千葉	実数	47	6	-	41	16	1	21
	人口10万対	5.06	0.65	-	4.41	1.72	0	2.26
東葛南部	実数	62	11	-	51	24	-	25
	人口10万対	3.73	0.66	-	3.07	1.44	-	1.50
東葛北部	実数	56	6	-	50	21	-	28
	人口10万対	4.27	0.46	-	3.81	1.60	-	2.13
印旛	実数	26	3	0	23	9	1	15
	人口10万対	3.70	0.43	0.00	3.27	1.28	0	2.13
香取海匠(注)	実数	23	3	0	20	12	0	10
	人口10万対	6.65	0.87	0.00	5.79	3.47	0	2.89
銚子市	実数	5	-	-	5	3	-	3
	人口10万対	6.58	-	-	6.58	3.95	-	3.95
旭市	実数	5	2	-	3	1	-	1
	人口10万対	7.04	2.82	-	4.22	1.41	-	1.41
匝瑳市	実数	3	1	-	2	1	-	1
	人口10万対	7.14	2.38	-	4.76	2.38	-	2.38
香取市	実数	6	-	-	6	4	-	2
	人口10万対	6.72	-	-	6.72	4.48	-	2.24
神崎町	実数	1	-	-	1	-	-	-
	人口10万対	14.59	-	-	14.59	-	-	-
多古町	実数	1	-	-	1	1	-	1
	人口10万対	5.80	-	-	5.80	5.80	-	5.80
東庄町	実数	1	-	-	1	1	-	1
	人口10万対	6.08	-	-	6.08	6.08	-	6.08
横芝光町	実数	1	-	-	1	1	-	1
	人口10万対	3.73	-	-	3.73	3.73	-	3.73
山武夷隅長生	実数	23	1	0	22	15	0	12
	人口10万対	5.13	0.22	0.00	4.91	3.34	0	2.68
安房	実数	16	2	-	14	10	2	7
	人口10万対	11.13	1.39	-	9.74	6.95	1	4.87
君津	実数	19	1	-	18	8	-	9
	人口10万対	5.77	0.30	-	5.46	2.43	-	2.73
市原	実数	14	2	-	12	5	-	7
	人口10万対	4.91	0.70	-	4.21	1.75	-	2.46
千葉県	実数	286	35	-	251	120	4	134
	人口10万対	4.64	0.57	-	4.07	1.95	0	2.18

(注) この表では、香取海匠医療圏に横芝光町を含めている。

(出典：厚生労働省「平成18年医療施設調査」)

② 病床数

人口 10 万人当たりの病床数についても、病院数同様、千葉県全体を上回っており、香取海匠医療圏は、医療計画上は病床過剰地域である。

■ 病床の状況

病床種別	医療圏	基準病床数	既存病床数	過不足病床数
療養病床及び一般病床	千葉	7,163	7,129	-34
	東葛南部	9,244	10,800	1,556
	東葛北部	8,991	8,973	-18
	印旛	5,585	5,199	-386
	香取海匠	2,913	2,996	83
	山武長生夷隅	3,929	4,055	126
	安房	2,030	2,008	-22
	君津	2,366	2,300	-66
	市原	2,020	2,077	57
	千葉県 計	44,241	45,537	1,296
精神病床	県全域	13,334	13,291	-43
結核病床	県全域	258	365	107
感染症病床	県全域	59	53	-6

(出典：千葉県「千葉県保健医療計画」(平成 20 年 4 月))

■ 人口 10 万人当たり病床数

		病床数総数					地域医療支援病院 (再掲)	
		精神 病床	感染症 病床	結核 病床	療養 病床	一般 病床		
千葉	実数	9,240	1,580	6	150	1,163	6,341	203
	人口10万対	994.32	170.02	0.65	16.14	125.15	682.36	22
東葛南部	実数	13,858	3,878	8	88	2,262	7,622	-
	人口10万対	833.54	233.26	0.48	5.29	136.06	458.45	-
東葛北部	実数	10,637	2,463	8	-	1,659	6,507	-
	人口10万対	810.45	187.66	0.61	-	126.40	495.78	-
印旛	実数	6,253	1,466	7	47	1,293	3,440	719
	人口10万対	888.70	208.35	0.99	6.68	183.77	488.90	102
香取海匠(注)	実数	4,109	1,030	6	34	872	2,167	0
	人口10万対	1,188.77	297.99	1.74	9.84	252.28	626.93	0
銚子市	実数	917	150	-	20	251	496	-
	人口10万対	1,207.45	197.51	-	26.33	330.50	653.10	-
旭市	実数	1,470	639	6	-	45	780	-
	人口10万対	2,069.72	899.70	8.45	-	63.36	1,098.22	-
匝瑳市	実数	367	61	-	-	83	223	-
	人口10万対	872.87	145.08	-	-	197.41	530.38	-
香取市	実数	980	180	-	14	349	437	-
	人口10万対	1,097.01	201.49	-	15.67	390.67	489.18	-
神崎町	実数	29	-	-	-	-	29	-
	人口10万対	423.23	-	-	-	-	423.23	-
多古町	実数	166	-	-	-	56	110	-
	人口10万対	962.99	-	-	-	324.86	638.13	-
東庄町	実数	80	-	-	-	48	32	-
	人口10万対	486.71	-	-	-	292.02	194.68	-
横芝光町	実数	100	-	-	-	40	60	-
	人口10万対	373.47	-	-	-	149.39	224.08	-
山武夷隅長生	実数	4,121	1,125	4	26	1,159	1,807	0
	人口10万対	918.82	250.83	0.89	5.80	258.41	402.89	0
安房	実数	2,816	815	4	-	693	1,304	1,011
	人口10万対	1,958.49	566.82	2.78	-	481.97	906.92	703
君津	実数	2,885	606	6	26	719	1,528	-
	人口10万対	875.50	183.90	1.82	7.89	218.19	463.70	-
市原	実数	2,365	382	-	-	300	1,683	-
	人口10万対	829.45	133.97	-	-	105.22	590.26	-
千葉県	実数	56,284	13,345	49	371	10,120	32,399	1,933
	人口10万対	913.62	216.62	0.80	6.02	164.27	525.91	31

(注) この表では、香取海匠医療圏に横芝光町を含めている。

(出典：厚生労働省「平成 18 年医療施設調査」)

③ 一般診療所

匝瑳市の人口 10 万人当たり一般診療所数は 76.1 と多く、また、人口 10 万人当たり病床数も他の市町を大きく上回っている。

		一般診療所数			一般診療所病床数		
		総数	有床	療養病床を有する診療所(再掲)	無床	療養病床(再掲)	
千葉	実数	648	65	2	583	733	26
	人口10万対	69.7	7.0	0.2	62.7	78.9	2.8
東葛南部	実数	1,023	75	2	948	691	19
	人口10万対	61.5	4.5	0.1	57.0	41.6	1.1
東葛北部	実数	737	57	5	680	597	70
	人口10万対	56.2	4.3	0.4	51.8	45.5	5.3
印旛	実数	366	36	4	330	417	60
	人口10万対	52.0	5.1	0.6	46.9	59.3	8.5
香取海匝(注)	実数	190	22	3	168	273	50
	人口10万対	55.0	6.4	0.9	48.6	79.0	14.5
銚子市	実数	44	5	-	39	70	-
	人口10万対	57.9	6.6	-	51.4	92.2	-
旭市	実数	34	4	1	30	56	12
	人口10万対	47.9	5.6	1.4	42.2	78.8	16.9
匝瑳市	実数	32	7	1	25	85	19
	人口10万対	76.1	16.6	2.4	59.5	202.2	45.2
香取市	実数	48	5	-	43	43	-
	人口10万対	53.7	5.6	-	48.1	48.1	-
神崎町	実数	2	-	-	2	-	-
	人口10万対	29.2	-	-	29.2	-	-
多古町	実数	10	-	-	10	-	-
	人口10万対	58.0	-	-	58.0	-	-
東庄町	実数	5	-	-	5	-	-
	人口10万対	30.4	-	-	30.4	-	-
横芝光町	実数	15	1	1	14	19	19
	人口10万対	56.0	4	4	52.3	71	71
山武夷隅長生	実数	262	24	3	238	332	27
	人口10万対	58.4	5.4	0.7	53.1	74.0	6.0
安房	実数	89	18	1	71	248	4
	人口10万対	61.9	12.5	0.7	49.4	172.5	2.8
君津	実数	192	29	5	163	365	55
	人口10万対	58.3	8.8	1.5	49.5	110.8	16.7
市原	実数	165	18	3	147	243	37
	人口10万対	57.9	6.3	1.1	51.6	85.2	13.0
千葉県	実数	3,672	344	28	3,328	3,899	348
	人口10万対	59.6	5.6	0.5	54.0	63.3	5.6

(注) この表では、香取海匝医療圏に横芝光町を含めている。

(出典：厚生労働省「平成 18 年医療施設調査」)

④ 医療従事者

香取海匝医療圏の人口10万人当たり職種別医療従事者数は、歯科医師、薬剤師を除いて、千葉県全体を上回っている。なお、地域内においては、国保旭中央病院への集中の一方、それ以外は必ずしも多くはないようである。

■ 人口10万人当たり職種別医療従事者数

医療圏	医師	歯科医師	看護師	准看護師	保健師	助産師	薬剤師
千葉	246.0	118.7	608.4	187.8	27.0	22.1	251.9
東葛南部	128.1	64.6	355.3	142.0	22.6	19.3	173.9
東葛北部	130.5	84.5	362.8	176.0	19.4	10.0	169.9
印旛	142.7	56.6	419.4	174.6	27.1	14.2	166.2
香取海匝	170.1	61.4	469.4	322.5	34.0	20.6	133.9
山武長生夷隅	93.9	59.2	229.2	252.6	32.9	11.1	133.9
安房	265.0	74.3	739.4	452.7	43.9	21.9	171.8
君津	117.6	50.0	355.5	302.1	27.7	10.4	154.9
市原	158.6	47.5	457.5	210.0	19.9	17.1	141.1
千葉県計	152.0	74.3	411.4	197.2	25.1	16.0	176.5

(出典：千葉県「千葉県保健医療計画（別冊）」（平成20年4月）)

■ 人口 10 万人当たり診療科別医師数

医療圏	内科	心療内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	アレルギー科	リウマチ科	小児科	精神科
千葉	48.6	0.2	4.1	7.5	8.3	1.0	0.4	12.9	11.2
東葛南部	31.7	0.5	1.1	3.8	3.5	—	0.5	8.4	9.5
東葛北部	35.9	0.2	1.6	5.0	5.4	0.1	—	7.4	6.0
印旛	40.2	0.0	1.8	3.8	3.1	0.3	0.3	8.1	5.3
香取海匝	53.6	—	0.9	4.4	2.2	0.3	—	10.0	8.5
山武長生夷隅	38.3	0.2	0.4	2.7	0.4	0.2	0.0	4.6	6.3
安房	100.8	—	0.7	16.0	11.8	—	—	10.4	11.8
君津	30.3	—	1.2	5.2	3.9	—	—	6.1	7.0
市原	36.1	0.4	1.4	4.2	7.0	—	—	8.1	6.7
千葉県 計	39.5	0.2	1.7	5.0	4.7	0.2	0.2	8.5	8.0
医療圏	神経科	神経内科	外科	整形外科	形成外科	美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科
千葉	—	4.1	20.4	15.9	1.8	0.5	5.7	2.6	2.8
東葛南部	0.1	1.1	10.5	11.1	0.7	0.2	2.6	0.4	0.7
東葛北部	0.2	2.0	13.6	8.5	0.5	0.2	2.4	1.1	1.4
印旛	0.0	1.1	10.9	9.7	1.3	0.0	3.7	0.4	1.6
香取海匝	—	0.6	16.0	12.5	0.9	—	3.8	0.3	1.6
山武長生夷隅	0.0	1.3	9.9	9.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
安房	—	1.4	26.4	17.4	2.8	—	5.6	1.4	2.8
君津	—	0.9	15.8	7.6	0.6	—	2.4	1.2	0.9
市原	0.4	3.5	13.7	10.5	0.4	—	6.3	1.4	4.2
千葉県 計	0.1	1.8	13.7	11.0	0.9	0.2	3.4	0.9	1.5
医療圏	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	気管食道科	皮膚科	泌尿器科
千葉	1.3	6.6	0.5	2.5	10.0	7.7	1.0	5.8	6.7
東葛南部	0.3	7.0	0.3	0.8	8.4	4.6	—	4.3	2.8
東葛北部	0.2	5.9	—	1.1	6.9	4.9	—	3.9	2.1
印旛	0.1	6.7	0.1	0.9	8.1	5.0	0.0	4.4	3.4
香取海匝	—	6.3	0.3	0.6	8.8	3.8	—	2.8	3.8
山武長生夷隅	0.2	2.9	0.0	0.4	4.4	2.5	0.0	2.1	1.1
安房	0.7	13.2	—	0.7	10.4	4.9	—	4.2	10.4
君津	0.6	4.9	0.3	0.3	7.0	2.7	—	2.1	1.2
市原	—	7.4	0.4	—	7.4	4.6	—	5.6	4.2
千葉県 計	0.4	6.4	0.2	1.0	7.9	4.9	0.1	4.2	3.4
医療圏	性病科	肛門科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	研修医	その他		
千葉	0.1	0.4	2.3	6.1	5.4	12.3	8.6		
東葛南部	—	0.1	1.0	1.4	2.5	8.4	1.0		
東葛北部	—	1.0	1.1	1.6	2.7	10.4	3.4		
印旛	0.0	0.0	0.7	1.6	3.7	8.5	0.3		
香取海匝	—	0.3	0.9	1.3	3.8	16.0	0.9		
山武長生夷隅	0.0	0.0	0.2	0.0	0.4	0.4	0.2		
安房	—	—	5.6	3.5	6.3	17.4	—		
君津	—	—	—	0.6	1.2	5.5	0.9		
市原	—	0.4	2.1	1.8	4.2	10.9	0.4		
千葉県 計	0.0	0.3	1.2	2.1	3.1	9.4	2.4		

(出典：厚生労働省「平成 18 年医師・歯科医師・薬剤師調査」)

⑤ 病院機能

香取海匠医療圏および横芝光町には、現在 23 の病院がある。各病院の機能について整理したものが下表である。公立病院は、銚子市立病院（休院中）、国保旭中央病院、国民健康保険小見川総合病院、千葉県立佐原病院、国保多古中央病院、東庄町国民健康保険東庄病院、横芝光町立東陽病院があり、当院を含めて 8 病院と、地域の病院の 1/3 を占めている。中でも、国保旭中央病院は、3 次救急医療機関（救命救急センター）のほか各種指定を受けているなど、地域の基幹病院の役割を担っている。

当院は、二次救急医療機関、がん対応医療機関（肝がん、肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん）、糖尿病の合併症治療対応医療機関（網膜症、神経症状、腎症、壊疽・壊死）、糖尿病の専門的な管理を行う医療機関（糖尿病専門外来、糖尿病教育入院）に指定されている。

その他、各病院の概要は次頁表のとおりである（医事日報「2007 年版関東病院情報」による）。

名称（略称）	救急			周産期		災害拠点病院	小児医療連携拠点病院	がん		脳卒中		急性心筋梗塞対応医療機関	糖尿病		感染症・結核		精神科救急基幹病院	地域難病相談・支援センター	地域医療支援病院	臨床研修病院
	2次救急医療機関	救命基幹センター（3次補完）	3次救急医療機関	周産期医療連携拠点施設	地域周産期母子医療センター			地域がん診療連携拠点病院	各種がん対応医療機関	地域リハ広域支援センター	脳卒中対応医療機関		合併症治療対応医療機関	専門的な管理を行う医療機関	第二種感染症指定医療機関	結核病床を有する医療機関				
1 厚仁会内田病院																				
2 圭寿会児玉病院										○										
3 積仁会島田総合病院	○								○			○	○	○						
4 みさき会たむら記念病院	○												○	○						
5 銚子市立総合病院	○								○		○		○	○						
6 総合病院国保旭中央病院			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 ロザリオの聖母会海上療養所																				
8 京友会京友会病院																				
9 ロザリオの聖母会重症心身障害児施設聖母療育園																				
10 黒潮会田辺病院									○		○									
11 九十九里ホーム病院	○													○						
12 国保匝瑳市民病院	○								○				○	○						
13 松伯会藤田病院																				
14 国民健康保険小見川総合病院	○								○		○	○	○							
15 寿光会栗源病院											○									
16 千葉県立佐原病院	○	○				○			○		○		○	○						○
17 明芳会佐原中央病院																				
18 三省会本多病院	○								○		○	○			○					
19 華光会山野病院													○							
20 庄和会神崎クリニック													○	○						
21 国保多古中央病院	○								○		○	○		○						
22 東庄町国民健康保険東庄病院	○										○			○						
23 横芝光町立東陽病院																				
合計	10	1	1	0	1	2	1	1	9	1	8	6	10	12	1	1	1	1	1	1

（出典：千葉県「千葉県保健医療計画」（平成 20 年 4 月））

	名称（略称）	病 床 数						診 療 科 目															
		一般	精神	結核	感染	療養	合計	内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	外科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ科	放射線科	麻酔科	その他	
1	厚仁会内田病院					77	77	○				○	○										
2	圭寿会兒玉病院					77	77	○	○	○	○								○	○		神内	
3	積仁会島田総合病院	200					200	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		小/産婦/胃	
4	みさき会たむら記念病院	73				97	170	○				○	○		○	○	○	○				口外	
5	銚子市立総合病院	223	150	20			393																
6	総合病院国保旭中央病院	730	220		6		956	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小/神内/腎/血内/リウ/アレ/形/心臓外/産婦/手術/輸血/救急/歯/口外	
7	ロザリオの聖母会海上寮療養所		199				199	○														精/神	
8	京友会京友会病院		190				190															精/神	
9	ロザリオの聖母会重症心身障害児施設聖母療育園	50					50	○														小/歯	
10	黒潮会田辺病院					45	45	○	○		○						○		○	○		小/神内/胃	
11	九十九里ホーム病院	66				83	149	○	○				○				○	○	○			リウ/スボ整/形	
12	国保匝瑳市民病院	157					157	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
13	松伯会藤田病院		60				60	○			○											小/精	
14	国民健康保険小見川総合病院	170					170	○				○	○	○	○	○	○	○				小/歯	
15	寿光会栗源病院					65	65	○											○				
16	千葉県立佐原病院	237		4			241	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	小/神内/小外/産婦/歯	
17	明芳会佐原中央病院					161	161	○												○			
18	三省会本多病院	30	180	10		44	264	○	○			○	○									精	
19	華光会山野病院					79	79	○	○		○						○		○	○		神内/胃	
20	庄和会神崎クリニック	29					29	○		○	○	○	○									小/肛	
21	国保多古中央病院	110				56	166	○				○	○				○	○	○	○		小	
22	東庄町国民健康保険東庄病院	32				48	80	○				○		○								小	
23	横芝光町立東陽病院	60				40	100	○				○	○	○	○	○	○	○				婦	
	合計	2,167	999	34	6	872	4,078	21	9	6	9	11	13	5	7	6	10	9	11	8	3		

(出典：医事日報「2007年版関東病院情報」)

(3) 患者動向

平成 17 年の患者調査によれば、千葉県全体の推計入院患者数は、精神及び行動の障害 (22.3%) が最も多く、次いで、循環器系の疾患 (21.8%)、新生物 (6.1%) となっている。二次医療圏別に見ると、香取海匠医療圏では、循環器系の疾患が最も多く、次いで、精神及び行動の障害、新生物と続いている。一方、千葉県全体の推計外来患者数は、消化器系の疾患 (19.2%) が最も多く、循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患と続いている。

■ 推計入院患者数（千葉県）

	総患者数		疾病別年齢構成比		
	千人	構成比	年少人口	生産年齢人口	老年人口
			0～14歳	15～64歳	65歳以上
1 感染症及び寄生虫症	0.7	1.5%	0.0%	28.6%	42.9%
2 新生物	6.1	13.1%	0.0%	37.7%	59.0%
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.2	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.2	2.6%	0.0%	33.3%	66.7%
5 精神及び行動の障害	10.4	22.3%	1.0%	59.6%	41.3%
6 神経系の疾患	2.4	5.1%	0.0%	37.5%	58.3%
7 眼及び付属器の疾患	0.5	1.1%	0.0%	20.0%	40.0%
8 耳及び乳様突起の疾患	0.1	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
9 循環器系の疾患	10.2	21.8%	0.0%	17.6%	81.4%
10 呼吸器系の疾患	3.0	6.4%	13.3%	10.0%	73.3%
11 消化器系の疾患	2.5	5.4%	0.0%	36.0%	60.0%
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0.2	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	2.0	4.3%	0.0%	30.0%	70.0%
14 尿路性器系の疾患	1.5	3.2%	0.0%	26.7%	73.3%
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.5	1.1%	0.0%	100.0%	0.0%
16 周産期に発生した病態	0.2	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.2	0.4%	50.0%	0.0%	0.0%
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.8	1.7%	0.0%	12.5%	62.5%
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.8	8.1%	0.0%	31.6%	68.4%
20 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.2	0.4%	0.0%	50.0%	0.0%
合計	46.7	100.0%			

（出典：厚生労働省「平成17年患者調査」）

■ 推計入院患者数（患者住所地別）

（単位：千人）

	総数	千葉	東葛南部	東葛北部	印旛山武	香取海匝	夷隅長生	安房	君津	市原
1 感染症及び寄生虫症	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 新生物	6.0	0.9	1.5	1.2	0.9	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
5 精神及び行動の障害	10.4	1.3	2.4	2.0	1.5	0.8	0.8	0.6	0.6	0.4
6 神経系の疾患	2.3	0.3	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
7 眼及び付属器の疾患	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	-	0.0	0.0
8 耳及び乳様突起の疾患	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
9 循環器系の疾患	9.9	1.3	2.3	2.0	1.4	0.9	0.7	0.4	0.5	0.5
10 呼吸器系の疾患	2.8	0.4	0.7	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
11 消化器系の疾患	2.4	0.4	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1.8	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
14 尿路性器系の疾患	1.4	0.2	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16 周産期に発生した病態	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.7	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.6	0.5	0.9	0.7	0.5	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2
20 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	45.2	6.4	10.8	8.9	6.4	3.5	2.7	1.9	2.6	1.9

（出典：厚生労働省「平成17年患者調査」）

■ 推計外来患者数（千葉県）

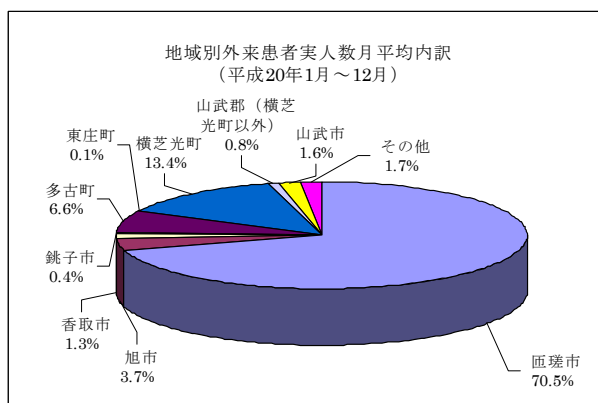
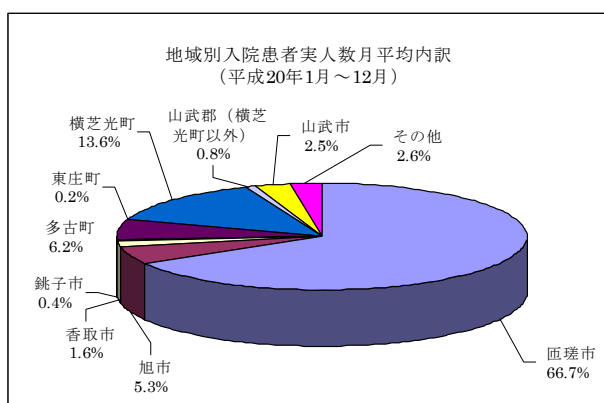
	総患者数		疾病別年齢構成比		
	千人	構成比	年少人口	生産年齢人口	老年人口
			0～14歳	15～64歳	65歳以上
1 感染症及び寄生虫症	10.5	3.7%	18.1%	54.3%	27.6%
2 新生物	8.1	2.9%	2.5%	50.6%	48.1%
3 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	1.0	0.4%	0.0%	70.0%	20.0%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	13.9	4.9%	0.0%	47.5%	52.5%
5 精神及び行動の障害	7.0	2.5%	2.9%	80.0%	18.6%
6 神経系の疾患	4.5	1.6%	6.7%	51.1%	44.4%
7 眼及び付属器の疾患	13.5	4.8%	6.7%	34.1%	60.0%
8 耳及び乳様突起の疾患	3.1	1.1%	25.8%	38.7%	35.5%
9 循環器系の疾患	34.2	12.1%	0.3%	33.9%	65.8%
10 呼吸器系の疾患	31.7	11.2%	44.8%	39.1%	15.5%
11 消化器系の疾患	54.2	19.2%	12.2%	62.2%	25.5%
12 皮膚及び皮下組織の疾患	12.4	4.4%	12.1%	72.6%	13.7%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	32.1	11.3%	0.9%	38.0%	61.4%
14 尿路性器系の疾患	14.6	5.2%	1.4%	54.8%	43.2%
15 妊娠、分娩及び産じょく	1.5	0.5%	0.0%	100.0%	0.0%
16 周産期に発生した病態	0.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.3	0.1%	33.3%	0.0%	0.0%
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2.4	0.8%	12.5%	54.2%	37.5%
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	10.9	3.9%	13.8%	63.3%	22.0%
20 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	26.9	9.5%	20.8%	47.6%	31.6%
合計	283.0	100.0%			

（出典：厚生労働省「平成17年患者調査」）

■ 地域別患者数（平成20年1月～12月）

当院の市町村別の患者数は以下のとおりである。匝瑳市内からの患者が2/3程度を占めているが、横芝光町は1割以上、多古町、旭市からも数%の患者を受け入れている。

	入院		外来	
	月平均（人）	割合（%）	月平均（人）	割合（%）
匝瑳市	173	66.7%	3,436	70.5%
旭市	14	5.3%	180	3.7%
香取市	4	1.6%	63	1.3%
銚子市	1	0.4%	20	0.4%
多古町	16	6.2%	321	6.6%
東庄町	1	0.2%	4	0.1%
横芝光町	35	13.6%	653	13.4%
山武郡（横芝光町以外）	2	0.8%	41	0.8%
山武市	7	2.5%	76	1.6%
その他	7	2.6%	84	1.7%
合計	260	100.0%	4,876	100.0%



(出典：国保匝瑳市民病院資料)

2. 内部経営

(1) 経営状況

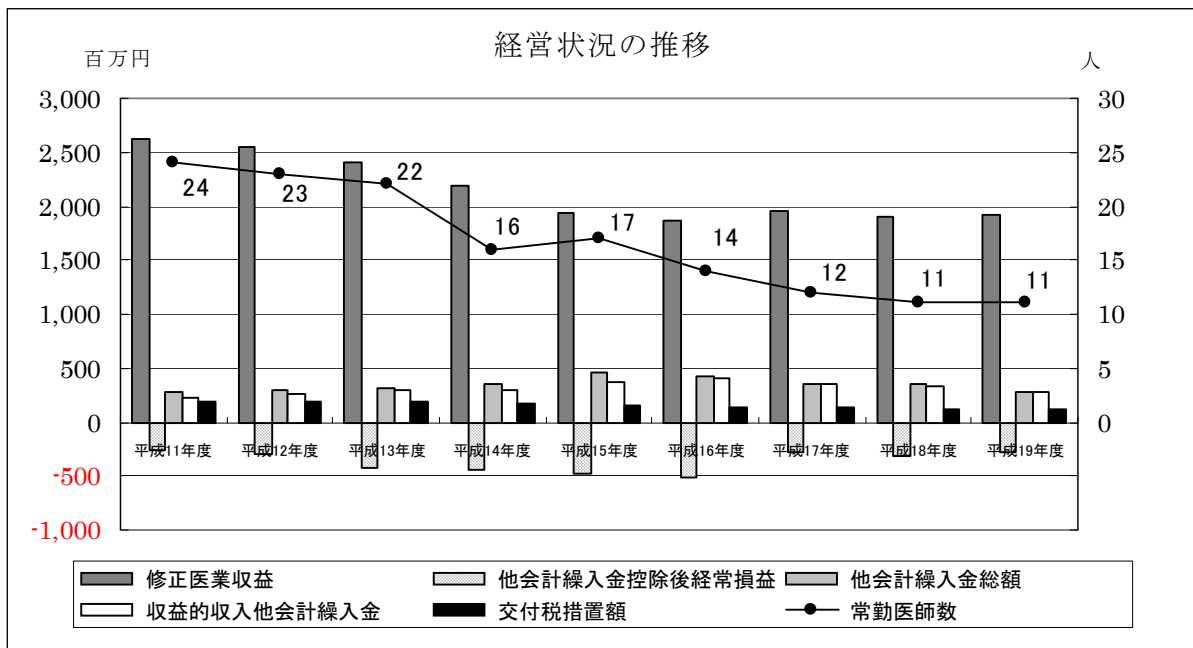
① 決算状況

(当院)

当院の経営状況は、入院収益、外来収益とも減少基調で、厳しい状況にある。常勤医師数が14人に減少した平成16年度には、医業収支比率が83.1%にまで落ち込んでおり、13年度以降、1億円前後の経常損失を計上してきたことから、累積欠損金が10億円を超えた。しかし、常勤医師数の減少が続く中、17年度には、外来収益は減少しつつも、入院収益は増加、その結果、医業収益から一般会計からの財政支援である他会計繰入金を控除した修正医業収益が増加し（18年度、19年度は若干減少）、16年度からの老人保健施設による一定の収益の計上、業務委託の推進等の経費節減努力等もあり、収支は改善されている。

因みに、病院単体としての収支状況を測るべく、修正医業収支比率（修正医業収益／医業費用）の推移をみると、平成16年度までは低下していたものの、17年度から上昇に転じている。自治体立病院内での経営状況の相対的な位置づけも上がっており、18年度には上位1/3程度に位置している。

なお、数値としてグラフ、表に反映していないが、平成20年度の経営状況は、かなり悪化している。

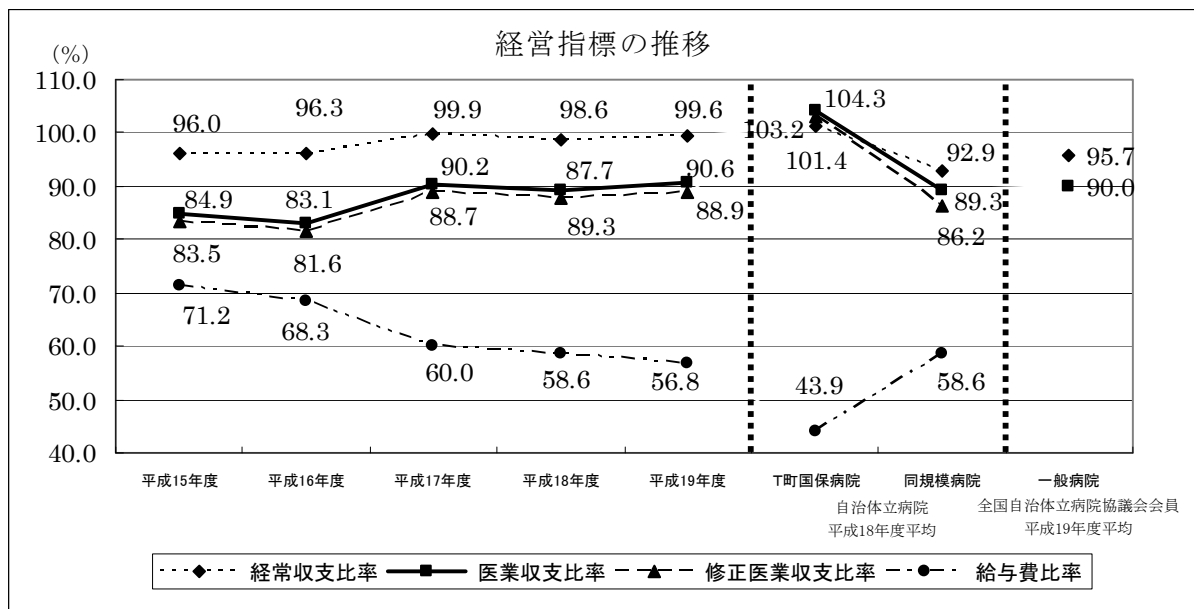


(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)

(単位：%)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	自治体立病院 平成18年度平均		全国自治体病院 院協議会会員 平成19年度平均
						T町国保病院	同規模病院	
						総病床/ 120床	総病床/ 100~199床	一般病院
経常収支比率	96.0	96.3	99.9	98.6	99.6	101.4	92.9	95.7
医業収支比率	84.9	83.1	90.2	89.3	90.6	104.3	89.3	90.0
修正医業収支比率	83.5	81.6	88.7	87.7	88.9	103.2	86.2	
給与費比率	71.2	68.3	60.0	58.6	56.8	43.9	58.6	

(注) 同規模病院は市町村立病院のみで、都道府県立病院は含まれていない。
(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)



(注) 同規模病院は市町村立病院のみで、都道府県立病院は含まれていない。
(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)

(単位：千円)

	11年度		12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度	
	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率	実額	対前年増減率
総収益	2,884,016	110.2%	2,895,766	111.4%	2,751,559	114.0%	2,531,720	115.5%	2,332,588	120.7%	2,618,324	140.9%	2,759,597	141.2%	2,678,800	140.3%	2,652,441	138.6%
医療収益	2,664,782	101.8%	2,594,069	101.9%	2,463,474	102.0%	2,241,954	102.3%	1,965,603	101.7%	1,890,590	101.8%	1,985,292	101.6%	1,944,879	101.9%	1,948,623	101.8%
(修正医療収益)	2,617,646	100.0%	2,544,463	100.0%	2,414,088	100.0%	2,192,281	100.0%	1,932,031	100.0%	1,857,710	100.0%	1,954,093	100.0%	1,909,550	100.0%	1,913,294	100.0%
入院収益	1,308,323	50.0%	1,324,656	52.1%	1,247,834	51.7%	1,180,889	53.9%	1,036,600	53.7%	1,007,590	54.2%	1,140,696	58.4%	1,108,952	58.1%	1,126,872	58.9%
外来収益	1,140,629	43.6%	977,469	38.4%	935,028	38.7%	771,052	35.2%	683,355	35.4%	740,385	39.9%	688,355	35.2%	665,589	34.9%	642,554	33.6%
その他医療収益	215,830	8.2%	291,944	11.5%	280,612	11.6%	290,013	13.2%	245,648	12.7%	142,615	7.7%	156,241	8.0%	170,338	8.9%	179,197	9.4%
うち他会計負担金	47,136	1.8%	49,606	1.9%	49,386	2.0%	49,673	2.3%	33,572	1.7%	32,880	1.8%	31,199	1.6%	35,329	1.9%	35,329	1.8%
医療外収益	219,234	8.4%	241,697	9.5%	288,085	11.9%	289,766	13.2%	366,985	19.0%	727,734	39.2%	694,305	35.5%	673,921	35.3%	703,818	36.8%
国庫・県補助金	6,509	0.2%	6,320	0.2%	5,146	0.2%	4,056	0.2%	4,496	0.2%	1,488	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
他会計補助金・負担金	186,135	7.1%	208,986	8.2%	251,266	10.4%	252,017	11.5%	339,375	17.6%	377,933	20.3%	246,144	12.6%	238,675	12.5%	238,934	12.5%
その他医療外収益	26,590	1.0%	26,391	1.0%	31,673	1.3%	33,693	1.5%	23,114	1.2%	348,313	18.7%	448,161	22.9%	435,246	22.8%	464,884	24.3%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	80,000	4.1%	60,000	3.1%	0	0.0%
うち他会計繰入金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	80,000	4.1%	60,000	3.1%	0	0.0%
総費用	2,911,110	111.2%	2,882,685	113.3%	2,870,801	118.9%	2,671,461	121.9%	2,430,644	125.8%	2,718,911	146.4%	2,684,143	137.4%	2,664,357	139.5%	2,664,819	139.3%
医療費用	2,749,548	105.0%	2,739,897	107.7%	2,726,448	112.9%	2,537,673	115.8%	2,314,364	119.8%	2,275,719	122.5%	2,201,891	112.7%	2,177,251	114.0%	2,151,549	112.5%
職員給与費	1,491,395	57.0%	1,572,611	61.8%	1,571,777	65.1%	1,484,550	67.7%	1,400,076	72.5%	1,291,096	69.5%	1,191,771	61.0%	1,140,619	59.7%	1,107,319	57.9%
材料費	633,737	24.2%	499,761	19.6%	448,335	18.6%	352,780	16.1%	297,727	15.4%	300,638	16.2%	299,801	15.3%	299,845	15.7%	298,876	15.6%
投薬	322,315	12.3%	140,149	5.5%	130,281	5.4%	37,068	1.7%	32,878	1.7%	39,443	2.1%	42,623	2.2%	32,806	1.7%	29,696	1.6%
注射	106,431	4.1%	134,411	5.3%	109,872	4.6%	140,199	6.4%	113,124	5.9%	116,150	6.3%	125,470	6.4%	143,572	7.5%	149,413	7.8%
その他医療材料費	175,887	6.7%	197,649	7.8%	178,876	7.4%	149,572	6.8%	129,522	6.7%	121,908	6.5%	131,505	6.7%	123,264	6.5%	118,574	6.2%
給食材料費	29,104	1.1%	27,552	1.1%	29,306	1.2%	26,141	1.2%	22,473	1.2%	23,737	1.3%	203	0.0%	203	0.0%	1,383	0.1%
減価償却費	109,397	4.2%	138,916	5.5%	146,065	6.1%	142,763	6.5%	136,395	7.1%	181,564	9.8%	174,039	8.9%	154,032	8.1%	155,781	8.1%
経費	501,970	19.2%	516,406	20.3%	547,450	22.7%	546,970	24.9%	469,249	24.3%	493,500	26.6%	527,766	27.0%	576,275	30.2%	579,573	30.3%
うち委託料	258,888	9.9%	255,078	10.0%	274,758	11.4%	277,992	12.7%	223,860	11.6%	243,947	13.1%	292,428	15.0%	328,665	17.2%	338,777	17.7%
研究研修費	9,465	0.4%	8,187	0.3%	8,757	0.4%	5,884	0.3%	6,102	0.3%	4,439	0.2%	4,203	0.2%	4,576	0.2%	4,611	0.2%
資産減耗費	3,584	0.1%	4,016	0.2%	4,064	0.2%	4,726	0.2%	4,815	0.2%	4,482	0.2%	4,311	0.2%	1,904	0.1%	5,395	0.3%
医療外費用	161,286	6.2%	141,571	5.6%	142,842	5.9%	132,934	6.1%	115,200	6.0%	442,762	23.8%	480,449	24.6%	479,704	25.1%	511,517	26.7%
うち支払利息	90,942	3.5%	88,444	3.5%	83,787	3.5%	78,120	3.6%	72,225	3.7%	85,902	4.6%	80,859	4.1%	75,915	4.0%	71,862	3.8%
うち企業債利息	90,942	3.5%	88,444	3.5%	83,787	3.5%	78,120	3.6%	72,224	3.7%	85,901	4.6%	80,859	4.1%	75,915	4.0%	71,862	3.8%
うち繰延勘定償却	7,036	0.3%	7,554	0.3%	7,806	0.3%	7,606	0.3%	8,027	0.4%	7,367	0.4%	4,454	0.2%	3,670	0.2%	4,800	0.3%
特別損失	276	0.0%	1,217	0.0%	1,511	0.1%	854	0.0%	1,080	0.1%	430	0.0%	1,803	0.1%	7,402	0.4%	1,753	0.1%
経常損益	-26,818	-1.0%	-45,702	-1.8%	-117,731	-4.9%	-138,887	-6.3%	-96,976	-5.0%	-100,157	-5.4%	-2,743	-0.1%	-38,155	-2.0%	-10,625	-0.6%
他会計繰入金控除後経常損益	-260,089	-9.9%	-304,294	-12.0%	-418,389	-17.3%	-440,577	-20.1%	-469,923	-24.3%	-510,970	-27.5%	-280,086	-14.3%	-312,159	-16.3%	-284,888	-14.9%
純損益	-27,094	-1.0%	-46,919	-1.8%	-119,242	-4.9%	-139,741	-6.4%	-98,056	-5.1%	-100,587	-5.4%	75,454	3.9%	14,443	0.8%	-12,378	-0.6%
他会計繰入金控除後純損益	-260,365	-9.9%	-305,511	-12.0%	-419,894	-17.4%	-441,431	-20.1%	-471,003	-24.4%	-511,400	-27.5%	-281,889	-14.4%	-319,561	-16.7%	-286,641	-15.0%
他会計繰入金控除後の簡易な営業CF	-140,348	-5.4%	-155,025	-6.1%	-261,959	-10.9%	-286,336	-13.1%	-321,766	-16.7%	-317,987	-17.1%	-99,085	-5.1%	-159,955	-8.4%	-	0.0%
累積剰余金又は欠損金	-560,660	-21.4%	-607,580	-23.9%	-726,822	-30.1%	-866,563	-39.5%	-964,619	-49.9%	-1,065,206	-57.3%	-989,752	-50.7%	-975,309	-51.1%	-987,687	-51.6%
他会計繰入金再掲(経常段階)	233,271	8.9%	258,592	10.2%	300,652	12.5%	301,690	13.8%	372,947	19.3%	410,813	22.1%	277,343	14.2%	274,004	14.3%	274,263	14.3%
収益的収入他会計繰入金	233,271	8.9%	258,592	10.2%	300,652	12.5%	301,690	13.8%	372,947	19.3%	410,813	22.1%	357,343	18.3%	334,004	17.5%	274,263	14.3%
資本的収入他会計繰入金	44,051	1.7%	33,891	1.3%	15,291	0.6%	42,904	2.0%	80,348	4.2%	5,880	0.3%	2,888	0.1%	20,157	1.1%	4,533	0.2%
経常収支比率	99.1%		98.4%		95.9%		94.8%		96.0%		96.3%		99.9%		98.6%		99.6%	
医療収支比率	96.9%		94.7%		90.4%		88.3%		84.9%		83.1%		90.2%		89.3%		90.6%	
給与費比率	56.0%		60.6%		63.8%		66.2%		71.2%		68.3%		60.0%		68.9%		56.8%	
修正医療収支比率	95.2%		92.9%		88.5%		86.4%		83.5%		81.6%		88.7%		87.7%		88.9%	
ランキング	227 /985		376 /990		548 /992		559 /1000		656 /1000		675 /999		446 /982		381 /966		-	
実質収益対経常費用比率	91.1%		89.4%		85.4%		83.5%		80.7%		81.2%		89.6%		88.3%		89.3%	
ランキング	255 /985		391 /990		542 /992		546 /1000		644 /1000		622 /999		281 /982		238 /966		-	
総病床数	157		157		157		157		157		157		157		157		157	
病床利用率	79.8%		78.8%		77.9%		75.4%		65.0%		65.5%		71.5%		69.1%		68.5%	
一床当たりの入院収益	8,333		8,437		7,948		7,522		6,603		6,418		7,296		7,063		7,178	
患者1人1日当たり	入院診療収入(円)	28,545		29,318		27,970		27,343		27,772		26,834		27,830		28,007		28,634
1日当たり	外来診療収入(円)	6,460		5,585		5,386		5,175		5,703		6,867		7,376		7,383		7,460
総職員数	164		168		167		158		159		167		152		149		145	
うち医師数	24		23		22		16		17		14		12		11		11	
職員1人1日当たり患者数	医師・入院	4.9		4.9		5.0		5.4		5.2		5.5		6.7		6.5		6.4
1日当たり	医師・外来	18.9		19.0		19.4		18.7		16.6		15.8		15.2		14.8		14.1
患者数	看護部門・入院	1.1		1.0		1.1		1.1		1.0		0.9		1.0		0.9		0.9
看護部門・外来	4.1		4.0		4.2		3.8		3.1		2.5		2.2		2.1		2.1	
1日平均入院患者数	125		124		122		118		102		103		112		108		108	
1日平均外来患者数	724		714		709		608		487		444		382		368		352	
医師1人1日当たり診療収入(円)	262,510		249,824		243,487		245,157		237,727		256,414		296,972		291,195		280,927	

以下に、病院単独、老人保健施設単独、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション全体に分けて、16年度から19年度の損益状況を整理した。なお、データの制約により、必ずしも前頁までのデータとは整合しないものの、目安としてみていただきたい。

まず、病院は、17年度以降、特に給与費の削減等もあり、ほぼ収支トントンになっている。一方、老人保健施設は、職員の常雇化等に伴う給与費の増加等に伴い、黒字幅は減少しつつも黒字を維持、他方、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーションは、費用削減するも、収益の減少により、赤字幅は減少しつつもの、赤字状態が続いている。

■ 病院単独決算

(単位：円)

	16年度	17年度	18年度	19年度
医業収益	1,748,156,710	1,850,346,164	1,842,381,149	1,862,454,475
入院収益	1,007,589,546	1,140,696,362	1,108,952,136	1,126,872,159
外来収益	623,986,320	580,293,488	573,119,524	566,414,953
他会計負担金	28,111,000	26,359,000	29,935,000	28,722,000
その他医業収益	88,469,844	102,997,314	130,374,489	140,445,363
医業費用	2,068,959,399	2,000,640,552	2,006,429,041	2,005,179,437
給与費	1,250,974,537	1,168,299,709	1,147,681,837	1,143,717,607
材料費	299,793,456	298,727,947	298,491,549	297,612,049
経費	381,731,084	405,406,662	452,048,347	450,051,751
減価償却費	127,761,130	119,986,038	101,982,176	104,009,325
資産減耗費	4,481,760	4,311,130	1,904,102	5,394,518
研究研修費	4,217,432	3,909,066	4,321,030	4,394,187
医業損失	△ 320,802,689	△ 150,294,388	△ 164,047,892	△ 142,724,962
医業外収益	287,044,203	240,381,000	225,601,034	222,765,584
受取利息配当金	2,518	244	0	205,960
他会計補助金	272,939,000	225,365,000	217,188,000	216,412,000
補助金	1,488,000	0	0	0
研究受託収益	494,096	60,000	0	500,000
その他医業外収益	12,120,589	14,955,756	8,413,034	5,647,624
医業外費用	107,847,441	102,323,915	97,911,158	96,346,294
支払利息	66,528,275	61,447,439	56,536,886	52,539,887
看護師等養成費	1,100,000	1,200,000	1,200,000	600,000
受託研究費	0	0	0	0
雑損失	33,050,146	35,398,901	36,702,106	38,604,397
繰延勘定償却	7,169,020	4,277,575	3,472,166	4,602,010
経常損失	△ 141,605,927	△ 12,237,303	△ 36,358,016	△ 16,305,672
特別利益	0	80,000,000	60,000,000	0
特別損失	△ 430,340	△ 1,802,682	△ 7,401,996	△ 1,753,351
当年度純損失	△ 142,036,267	65,960,015	16,239,988	△ 18,059,023
前年度繰越欠損金	△ 964,618,398	△ 1,106,654,665	△ 1,040,694,650	△ 1,024,454,662
当年度未処理欠損金	△ 1,106,654,665	△ 1,040,694,650	△ 1,024,454,662	△ 1,042,513,685

(注) 会計処理の違いのため、地方公営企業年鑑の決算書と整合性が取れていないことには留意が必要である。

(出典：国保匠瑤市民病院資料)

■ 老人保健施設単独決算

(単位：円)

	16年度	17年度	18年度	19年度
施設事業収益	335,695,783	433,144,808	425,829,741	457,369,143
入所収益	290,285,980	378,745,482	376,109,281	381,735,288
通所収益	31,860,910	34,500,502	32,695,410	41,006,860
その他施設事業収益	13,548,893	19,898,824	17,025,050	34,626,995
施設事業外収益	126,562,732	46,039,550	31,410,757	32,563,632
収益合計	462,258,515	479,184,358	457,240,498	489,932,775
施設事業費用	358,451,780	399,453,654	401,340,593	434,517,940
給与費	205,620,805	224,894,244	225,827,578	241,326,008
材料費	10,671,936	14,943,187	13,945,222	14,498,398
経費	87,761,097	105,066,847	109,204,661	126,547,581
減価償却費	53,802,701	54,053,220	52,049,929	51,771,900
研究研修費	595,241	496,156	313,203	374,053
施設事業外費用	29,422,132	31,839,314	31,406,272	30,674,725
特別損失	0	0	0	63,411
費用合計	387,873,912	431,292,968	432,746,865	465,256,076
事業収支	74,384,603	47,891,390	24,493,634	24,676,699

(注1) 会計処理の違いのため、地方公営企業年鑑の決算書と整合性が取れていないことには留意が必要である。

(注2) 施設事業外収益及び施設事業外費用は施設面積に応じて案分した金額を計上している。

(出典：国保匠瑛市民病院資料)

■ 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション全体決算

(単位：円)

	16年度	17年度	18年度	19年度
訪問看護ステーション収益	60,364,625	57,163,341	47,040,406	42,936,731
居宅介護支援事業所収益	17,773,000	16,918,500	17,181,500	16,478,500
ヘルパーステーション収益	38,260,915	33,979,240	28,247,227	16,723,602
施設事業外収益	4,465,440	4,465,440	4,465,440	4,465,440
収益合計	120,863,980	109,685,468	93,577,381	77,287,757
施設事業費用	152,761,644	146,959,236	118,760,176	95,201,195
給与費	143,776,063	135,957,877	109,051,052	87,006,953
材料費	844,133	1,072,923	1,353,272	1,264,212
経費	7,919,795	9,634,858	8,101,107	6,713,551
研究研修費	221,653	293,578	254,745	216,479
施設事業外費用	1,038,084	1,123,368	1,108,089	1,082,279
費用合計	153,799,728	148,082,604	119,868,265	96,283,474
事業収支	△32,935,748	△38,397,136	△26,290,885	△18,995,717

(注1) 会計処理の違いのため、地方公営企業年鑑の決算書と整合性が取れていないことには留意が必要である。

(注2) 施設事業外収益及び施設事業外費用は施設面積に応じて案分した金額を計上している。

(出典：国保匠瑛市民病院資料)

(周辺医療機関との比較：平成 18 年度)

周辺医療機関の経営状況は、国保旭中央病院の事業規模が大きく、また良好である一方で、当院、国保多古中央病院、東陽病院は厳しい状況に置かれていることがうかがえる。これらの病院は市町からの財政負担である他会計繰入金に頼るところが大きく、東陽病院では他会計繰入金(収益的収入)の金額が修正医業収益比 39.7%にまで上っている。

ベンチマーク病院である T 町国保病院(病床数 120 床)を見ると、事業規模は当院よりも小さいものの、修正医業収支比率は 100%を超え、自治体立病院内ランキングは 18 位と非常に良好であるが、医師一人一日あたり平均入院患者数、外来患者数、診療収入のいずれも多い、または高いことから、医師による多大な貢献が評価されると同時に、その負担も相当なものであることが推測できる。当院は老人保健施設事業も含まれているため、医業外収益、医業外費用は単純に比較対象となり得ないが、外来収益、職員給与費(総職員数)、経費のうちの委託料の修正医業収益比に差異が認められる。

	千葉県 匝瑳市 国保匝瑳市民病院 (平成18年度)		千葉県 旭市 総合病院 国保旭中央病院 (平成18年度)		千葉県 多古町 国保多古中央病院 (平成18年度)		千葉県 横芝光町 東陽病院 (平成18年度)		宮崎県 1町 国保病院 (平成18年度)	
	実額	対修正医業収益	実額	対修正医業収益	実額	対修正医業収益	実額	対修正医業収益	実額	対修正医業収益
総収益	2,678,800	140.3%	28,813,145	109.9%	1,505,063	114.4%	1,182,220	145.0%	2,028,961	104.3%
医業収益	1,944,879	101.9%	26,684,908	101.8%	1,374,848	104.5%	837,031	102.6%	1,966,497	101.0%
(修正医業収益)	1,909,550	100.0%	26,209,883	100.0%	1,315,979	100.0%	815,529	100.0%	1,946,220	100.0%
入院収益	1,108,952	58.1%	13,294,504	50.7%	779,022	59.2%	524,165	64.3%	1,043,149	53.6%
外来収益	665,589	34.9%	12,089,528	46.1%	440,989	33.5%	265,843	32.6%	856,994	44.0%
その他医業収益	170,338	8.9%	1,300,876	5.0%	154,837	11.8%	47,023	5.8%	66,354	3.4%
うち他会計負担金	35,329	1.9%	475,025	1.8%	58,869	4.5%	21,502	2.6%	20,277	1.0%
医業外収益	673,921	35.3%	2,128,237	8.1%	130,215	9.9%	345,189	42.3%	62,464	3.2%
国庫・県補助金	0	0.0%	145,155	0.6%	1,766	0.1%	26,426	3.2%	0	0.0%
他会計補助金・負担金	238,675	12.5%	767,354	2.9%	105,496	8.0%	302,151	37.0%	54,723	2.8%
その他医業外収益	435,246	22.8%	1,215,728	4.6%	22,953	1.7%	16,612	2.0%	7,741	0.4%
特別利益	60,000	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
うち他会計繰入金	60,000	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総費用	2,664,357	139.5%	28,510,780	108.8%	1,773,512	134.8%	1,245,840	152.8%	2,000,463	102.8%
医業費用	2,177,251	114.0%	25,743,971	98.2%	1,642,292	124.8%	1,105,967	135.6%	1,885,077	96.9%
職員給与費	1,140,619	59.7%	11,224,971	42.8%	1,057,251	80.3%	652,702	80.0%	862,836	44.3%
材料費	299,845	15.7%	8,812,840	33.6%	157,253	11.9%	135,059	16.6%	427,459	22.0%
投薬	32,806	1.7%	3,620,831	13.8%	24,810	1.9%	21,837	2.7%	32,389	1.7%
注射	143,572	7.5%	2,120,759	8.1%	47,104	3.6%	50,952	6.2%	192,235	9.9%
その他医療材料費	123,264	6.5%	2,905,555	11.1%	61,526	4.7%	48,332	5.9%	202,466	10.4%
給食材料費	203	0.0%	165,695	0.6%	23,813	1.8%	13,938	1.7%	369	0.0%
減価償却費	154,032	8.1%	1,832,402	7.0%	157,162	11.9%	62,777	7.7%	113,625	5.8%
経費	576,275	30.2%	3,678,154	14.0%	266,130	20.2%	252,195	30.9%	474,137	24.4%
うち委託料	328,665	17.2%	1,059,651	4.0%	144,269	11.0%	55,381	6.8%	192,630	9.9%
研究研修費	4,576	0.2%	121,513	0.5%	3,057	0.2%	2,713	0.3%	3,551	0.2%
資産減耗費	1,904	0.1%	74,091	0.3%	1,439	0.1%	521	0.1%	3,469	0.2%
医業外費用	479,704	25.1%	2,766,809	10.6%	131,220	10.0%	139,873	17.2%	115,386	5.9%
うち支払利息	75,915	4.0%	449,433	1.7%	95,899	7.3%	113,509	13.9%	72,421	3.7%
うち企業債利息	75,915	4.0%	449,433	1.7%	95,899	7.3%	111,263	13.6%	72,421	3.7%
うち繰延勘定償却	3,670	0.2%	492,388	1.9%	12,005	0.9%	5,411	0.7%	5,168	0.3%
特別損失	7,402	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
経常損益	-38,155	-2.0%	302,365	1.2%	-268,449	-20.4%	-63,620	-7.8%	28,498	1.5%
他会計繰入金控除後経常損益	-312,159	-16.3%	-940,014	-3.6%	-432,814	-32.9%	-387,273	-47.5%	-46,502	-2.4%
純損益	14,443	0.8%	302,365	1.2%	-268,449	-20.4%	-63,620	-7.8%	28,498	1.5%
他会計繰入金控除後純損益	-319,561	-16.7%	-940,014	-3.6%	-432,814	-32.9%	-387,273	-47.5%	-46,502	-2.4%
他会計繰入金控除後の簡易な営業CF	-159,955	-8.4%	1,458,867	5.6%	-262,208	-19.9%	-318,564	-39.1%	75,760	3.9%
累積剰余金又は欠損金	-975,309	-51.1%	1,109,969	4.2%	-1,209,544	-91.9%	-1,217,273	-149.3%	693,320	35.6%
他会計繰入金再掲(経常段階)	274,004	14.3%	1,242,379	4.7%	164,365	12.5%	323,653	39.7%	75,000	3.9%
収益的収入他会計繰入金	334,004	17.5%	1,242,379	4.7%	164,365	12.5%	323,653	39.7%	75,000	3.9%
資本的収入他会計繰入金	20,157	1.1%	0	0.0%	106,536	8.1%	83,087	10.2%	5,000	0.3%
修正医業収支比率	87.7%		101.8%		80.1%		73.7%		103.2%	
ランキング	381 /966		30 /966		604 /966		745 /966		18 /966	
実質収益対経常費用比率	88.3%		96.7%		75.6%		68.9%		97.7%	
ランキング	238 /966		44 /966		647 /966		787 /966		35 /966	
総病床数	157		956		166		100		120	
病床利用率	69.1%		91.6%		63.5%		75.9%		90.0%	
一床当たりの入院収益	7,063		13,906		4,693		5,242		8,693	
患者1人1日当たり										
入院診療収入(円)	28,007		40,489		20,240		18,924		26,466	
外来診療収入(円)	7,383		14,054		7,558		5,257		7,791	
総職員数	149		1,522		139		88		90	
うち医師数	11		118		7		8		10	
職員1人1日当たり患者数										
医師・入院	6.5		3.8		10.9		8.0		10.0	
医師・外来	14.8		10.1		16.5		14.6		27.8	
看護部門・入院	0.9		1.0		1.0		1.5		1.1	
看護部門・外来	2.1		2.5		1.6		2.8		3.2	
1日平均入院患者数	108		900		105		76		108	
1日平均外来患者数	368		3,511		198		186		451	
医師1人1日当たり診療収入(円)	291,195		296,695		344,831		228,524		480,319	
1床あたりの償却資産	18,934		29,820		26,865		32,923		26,217	
うち建物	10,161		23,239		23,462		27,626		23,323	
器械・備品	2,805		6,320		2,402		5,251		2,723	

各種経営指標（医業収益に対する比率）において周辺医療機関と比較すると、国保旭中央病院は経常収支比率、医業収支比率ともに100%を超えているが、診療報酬の抑制等昨今の厳しい経営環境により、低下傾向にある。国保多古中央病院は経常収支比率、医業収支比率ともに平成17年度に一度改善したものの、平成18年度はいずれも80%台に落ち込んでいる。東陽病院は医業収支比率が概ね75%前後で推移していたが、平成18年度に他会計繰入金の増額を受けて、経常収支比率が94.9%まで改善している。

給与費比率は国保旭中央病院が42～44%とかなり低い水準になっている。国保多古中央病院、東陽病院も人件費の削減に努めているようではあるが、医業収益の減少も影響して、数値としての成果はあまり出ていない。当院については、給与費比率は大きく低下しており、国保多古中央病院、東陽病院に比較して低い数値にとどまっているが、他方、委託料は相対的に高い水準になっている。そのため、18年度について、職員給与費＋委託費の医業収益に対する比率を計算してみたが、当院は75%程度、それに対して国保多古中央病院、東陽病院とも85%前後と、委託料を勘案したベースでも、当院は国保多古中央病院、東陽病院との比較においては、低い水準にとどまっていることが見て取れる。

（単位：％）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
経常収支比率					
国保匝瑳市民病院	96.0	96.3	99.9	98.6	99.6
国保旭中央病院	104.8	103.1	102.3	101.1	
国保多古中央病院	97.7	91.9	94.1	84.9	
東陽病院	82.9	83.8	82.7	94.9	
医業収支比率					
国保匝瑳市民病院	84.9	83.1	90.2	89.3	90.6
国保旭中央病院	105.7	104.2	103.2	103.7	
国保多古中央病院	96.9	91.6	93.2	83.7	
東陽病院	73.3	76.7	75.2	75.7	
修正医業収支比率					
国保匝瑳市民病院	83.5	81.6	88.7	87.7	88.9
国保旭中央病院	104.2	102.6	101.9	101.8	
国保多古中央病院	94.6	87.9	90.2	80.1	
東陽病院	71.6	74.6	73.1	73.7	
給与費比率					
国保匝瑳市民病院	71.2	68.3	60.0	58.6	56.8
国保旭中央病院	43.6	44.0	43.5	42.1	
国保多古中央病院	65.0	69.2	68.4	76.9	
東陽病院	82.8	78.1	81.7	78.0	

（出典：総務省「地方公営企業年鑑」等）

② 医療提供体制

■ 医師

国保旭中央病院を除き、各病院とも常勤医師数は減少傾向にある。

その結果、医師一人一日あたり入院患者数は、国保旭中央病院が一貫して減少しているのに対し、匝瑳市民病院、国保多古中央病院、東陽病院は増加傾向にあり、これは、年々医師への負担が増していることを意味する。各病院における医療密度は同一ではないこと、大きな病院の場合、病理医や放射線医等直接診療に携わらない医師がいること等から単純な比較はできないが、あえて病院間の比較を行うと、国保旭中央病院に比べ、平成18年度で匝瑳市民病院は1.7倍、国保多古中央病院は2.9倍、東陽病院は2.1倍もの入院患者を診ていることになる。ただし、国保旭中央病院および匝瑳市民病院は一般病床のみあるいは一般病床がほとんどであるのに対し、国保多古中央病院および東陽病院は、療養病床を有していることには留意を要する。

医師一人一日あたり外来患者数は、匝瑳市民病院、国保旭中央病院ともに概ね減少傾向にある一方で、国保多古中央病院、東陽病院は平成15年度から増加傾向にある。国保旭中央病院と比較すると、平成18年度で匝瑳市民病院、東陽病院は1.4倍、国保多古中央病院は1.7倍である。

医師一人一日あたり入院患者数、外来患者数、診療収入から、相対的に国保多古中央病院の医師への負担の重さがうかがえる。

(単位：人、円)

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
常勤医師数								
国保匝瑳市民病院	24	23	22	16	17	14	12	11
国保旭中央病院	159	159	167	172	184	203	215	118(?)
国保多古中央病院	10	10	12	10	10	9	9	7
東陽病院	11	11	9	10	10	9	8	8
医師一人一日あたり								
入院患者数								
国保匝瑳市民病院	4.9	4.9	5.0	5.4	5.2	5.5	6.7	6.5
国保旭中央病院	5.2	5.1	4.9	4.8	4.6	4.3	4.1	3.8
国保多古中央病院	7.4	6.6	9.0	10.8	11.4	10.7	11.7	10.9
東陽病院	4.7	4.7	5.0	5.8	5.9	6.9	7.2	8.0
外来患者数								
国保匝瑳市民病院	18.9	19.0	19.4	18.7	16.6	15.8	15.2	14.8
国保旭中央病院	14.1	14.3	13.8	13.0	12.2	11.3	10.5	10.1
国保多古中央病院	18.2	16.9	16.8	16.5	15.8	17.9	17.3	16.5
東陽病院	15.1	14.3	14.5	12.9	12.5	13.6	13.4	14.6
診療収入								
国保匝瑳市民病院	262,510	249,824	243,487	245,157	237,727	256,414	296,972	291,195
国保旭中央病院	320,188	327,065	327,745	323,917	324,049	306,811	310,508	296,695
国保多古中央病院	289,384	278,540	327,302	349,782	358,736	349,790	365,197	344,831
東陽病院	228,592	193,018	169,552	182,942	180,962	205,530	209,043	228,524

(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)

■ 人員配置及び給与

介護老健施設併設に伴う増加を考慮したうえで、医師以外の常勤職員の人員配置についてみると、看護師は平成15年度まで増加しているものの、その後減少している。一方、医療技術職については、平成16年度までは増加しているが、ほぼ横ばいにある。全体の職員数については、病床数等も勘案すると、国保多古中央病院、東陽病院と比べる限りにおいては必ずしも多くはないが、ベンチマーク病院として考えているT町国保病院（病床数120床）と比較すると、介護老健施設にかかる人員を考慮したとしても、直接診療にかかわらない職種における効率化の余地はあるものと思量される。

給与水準について全職員の平均給与を見ると、当院は全体的に低下傾向にあるとはいえ、周辺医療機関の中では最も高い。職種別では、准看護師、事務職員の平均給与が周辺医療機関の中で最も高い。准看護師は周辺医療機関すべての平均年齢が同じであるにもかかわらず、20～75千円も高い状況である。事務職員は平均年齢が47歳であることも影響していると思われるが、高い水準にあると言えよう。

なお、一般的に高齢化が進んでいることに留意を要する。

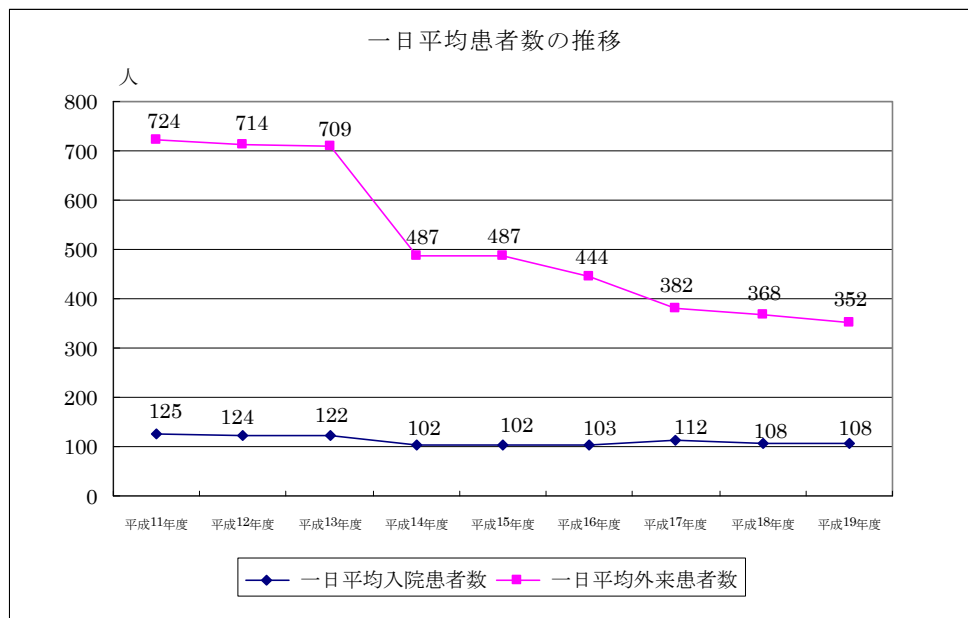
		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
医師	人数								
	国保匝瑳市民病院	24	23	22	16	17	14	12	11
	（うち介護老人保健施設）						(1)	(0)	(0)
	国保旭中央病院	159	159	167	172	184	203	215	118
	国保多古中央病院	10	10	12	10	10	9	9	7
	東陽病院	11	11	9	10	10	9	8	8
	給与								
	国保匝瑳市民病院	1,195,780	1,186,095	1,152,041	1,160,056	1,161,689	1,211,040	1,243,000	1,280,356
	国保旭中央病院	1,049,803	1,025,803	1,037,349	1,007,177	991,180	989,305	995,253	1,304,497
	国保多古中央病院	1,275,358	1,264,800	1,257,979	1,294,192	1,314,642	1,245,889	1,269,212	1,301,967
	東陽病院	1,171,765	1,175,485	1,185,796	1,175,992	1,170,125	1,216,046	1,281,318	1,210,333
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	41	41	40	46	45	49	46	47
国保旭中央病院	38	37	37	37	36	36	36	43	
国保多古中央病院	39	40	40	44	40	42	42	43	
東陽病院	42	43	45	45	56	45	45	47	
看護師	人数								
	国保匝瑳市民病院	73	73	75	77	78	83	81	78
	（うち介護老人保健施設）						(16)	(17)	(16)
	国保旭中央病院	569	588	586	602	617	632	634	632
	国保多古中央病院	26	31	43	44	46	46	47	53
	東陽病院	25	25	27	28	24	23	22	22
	給与								
	国保匝瑳市民病院	483,387	498,998	506,884	500,554	480,366	455,772	469,626	453,719
	国保旭中央病院	429,891	428,664	432,823	428,196	428,310	431,415	431,483	422,793
	国保多古中央病院	492,587	399,293	376,314	398,788	406,540	426,507	422,795	409,290
	東陽病院	448,303	441,843	459,141	455,109	454,848	449,040	475,250	472,057
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	37	38	38	39	39	39	37	39
国保旭中央病院	30	31	31	31	32	32	32	33	
国保多古中央病院	40	38	37	36	36	38	38	37	
東陽病院	34	36	35	36	39	38	39	40	
准看護師	人数								
	国保匝瑳市民病院	21	21	17	14	13	15	15	13
	（うち介護老人保健施設）						(4)	(4)	(4)
	国保旭中央病院	72	67	66	63	61	60	61	53
	国保多古中央病院	25	23	23	23	20	20	21	16
	東陽病院	18	18	16	17	16	15	16	16
	給与								
	国保匝瑳市民病院	587,361	585,603	594,638	577,607	557,478	532,811	524,306	517,297
	国保旭中央病院	479,885	476,694	485,799	458,322	477,174	482,757	484,933	477,652
	国保多古中央病院	491,420	456,877	462,435	447,315	563,167	508,858	477,397	441,469
	東陽病院	485,306	496,111	499,607	492,854	504,288	516,000	513,398	496,906
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	45	46	46	46	46	44	45	47
国保旭中央病院	43	44	44	45	46	47	46	47	
国保多古中央病院	45	46	46	48	49	49	49	47	
東陽病院	43	44	44	45	46	46	46	47	

		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
医療技術員	人数								
	国保匝瑳市民病院	22	23	23	24	23	28	25	28
	(うち介護老人保健施設)						(3)	(2)	(4)
	国保旭中央病院	257	253	249	256	229	235	252	238
	国保多古中央病院	14	16	20	19	19	18	20	20
	東陽病院	12	13	13	14	14	14	14	14
	給与								
	国保匝瑳市民病院	509,465	531,696	553,280	559,906	534,470	478,976	504,967	471,948
	国保旭中央病院	443,700	446,814	461,109	453,983	464,021	466,021	459,329	456,949
	国保多古中央病院	446,649	588,120	379,063	412,487	416,846	427,872	415,672	422,208
	東陽病院	481,958	478,320	482,090	476,778	471,669	474,042	464,518	472,821
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	37	38	39	36	41	39	39	39
	国保旭中央病院	35	36	36	37	37	37	36	37
	国保多古中央病院	36	37	35	36	36	37	36	37
	東陽病院	38	38	39	39	42	41	42	42
事務職員	人数								
	国保匝瑳市民病院	13	14	14	13	12	11	10	10
	(うち介護老人保健施設)						(1)	(1)	(1)
	国保旭中央病院	93	92	93	97	106	109	108	98
	国保多古中央病院	12	14	14	14	14	10	10	9
	東陽病院	14	13	13	13	12	12	11	11
	給与								
	国保匝瑳市民病院	609,795	617,179	622,298	606,814	618,792	587,273	584,258	591,475
	国保旭中央病院	415,924	430,610	438,199	422,883	421,579	421,030	432,015	452,511
	国保多古中央病院	608,389	555,211	586,423	535,958	533,494	582,542	554,217	563,738
	東陽病院	515,294	531,382	539,051	519,766	492,167	483,264	513,762	495,985
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	42	45	45	45	48	47	47	47
	国保旭中央病院	35	36	37	36	37	38	39	40
	国保多古中央病院	44	42	44	43	42	44	43	44
	東陽病院	41	42	43	42	42	44	45	45
その他職員	人数								
	国保匝瑳市民病院	11	14	16	14	16	16	9	9
	(うち介護老人保健施設)						(9)	(7)	(7)
	国保旭中央病院	395	399	397	401	430	436	467	383
	国保多古中央病院	18	20	28	35	33	35	35	34
	東陽病院	18	18	18	15	16	17	17	17
	給与								
	国保匝瑳市民病院	559,735	507,673	493,251	485,631	447,891	427,261	373,951	346,048
	国保旭中央病院	336,771	340,577	345,705	345,694	354,802	358,066	345,954	370,699
	国保多古中央病院	296,329	295,208	510,699	345,607	274,063	357,760	302,436	303,190
	東陽病院	355,185	366,667	375,514	378,390	370,645	358,059	366,843	361,146
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	48	44	42	51	41	41	36	34
	国保旭中央病院	39	39	39	41	41	42	42	44
	国保多古中央病院	43	40	37	42	37	38	40	40
	東陽病院	48	49	50	49	51	49	50	49
計	人数								
	国保匝瑳市民病院	164	168	167	158	159	167	152	149
	(うち介護老人保健施設)						(34)	(31)	(32)
	国保旭中央病院	1,545	1,558	1,558	1,591	1,627	1,675	1,737	1,522
	国保多古中央病院	105	114	140	145	142	138	142	139
	東陽病院	98	98	96	97	92	90	88	88
	給与								
	国保匝瑳市民病院	618,262	618,360	616,369	597,103	573,227	537,721	543,353	526,685
	国保旭中央病院	472,770	471,997	481,530	475,487	478,406	485,715	485,229	489,957
	国保多古中央病院	540,783	514,162	514,314	470,440	475,904	486,324	461,261	445,773
	東陽病院	532,715	536,919	532,830	538,338	534,613	528,821	545,304	526,478
	平均年齢								
	国保匝瑳市民病院	40	40	40	41	41	41	39	41
	国保旭中央病院	35	35	36	36	36	37	37	38
	国保多古中央病院	41	41	39	41	39	40	40	40
	東陽病院	41	41	42	42	45	43	44	45

(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)

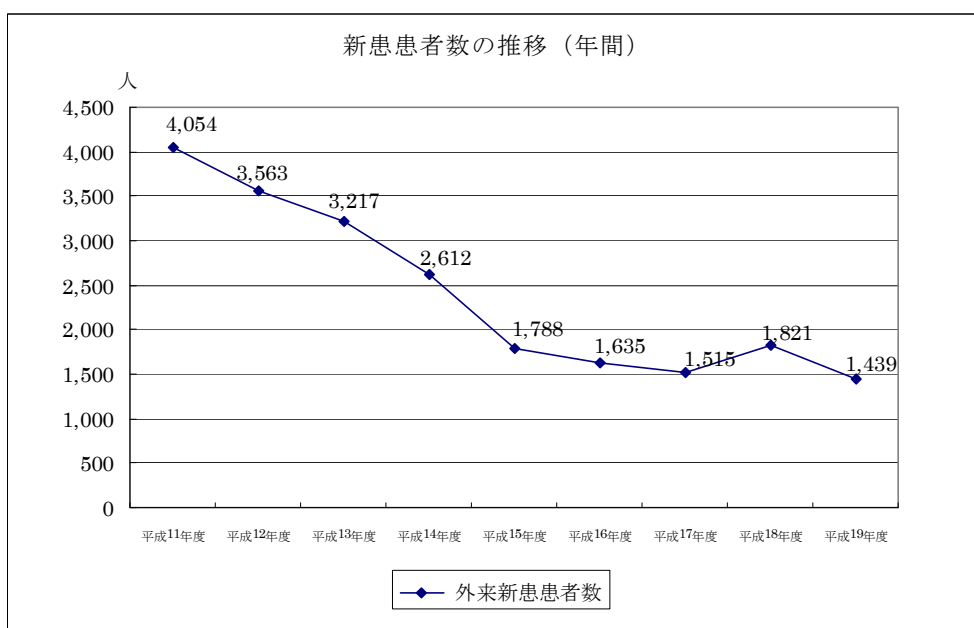
③ 患者数

当院の一日平均の患者数推移が下のグラフである。医師の減少、診療科の休止等に伴い、入院患者数、外来患者数とも減少している。入院患者数は11年度の125人から減少しつつも、100人以上を維持しているが、外来患者数は11年度の724人から19年度には352人と半減している。



(出典：総務省「地方公営企業年鑑」等)

外来患者数の中でも、新患患者数（年間）の推移が下のグラフである。11年度の4,054人から大きく減少しており、18年度にはやや持ち直したものの、19年度には1,439人と半分以下の水準に落ち込んでいる。



(出典：国保匝瑳市民病院資料)

④ 診療単価

■ 入院診療単価

当院の入院診療単価は、平成16年度に一度低下したものの、平成17年度からは上昇傾向にあり、平成17～19年度はベンチマーク病院であるT町国保病院（病床数120床）及び自治体立同規模病院（病床数100～199床）の平均及び全国自治体病院協議会会員の同規模病院（病床数100～199床）の平均を上回っている。

平成18年度の入院診療単価の内訳について、T町国保病院（病床数120床）及び自治体立同規模病院（病床数100～199床）の平均と比較すると、処置及び手術が下回っている一方で、入院料、その他は上回っている。

（単位：円）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	自治体立病院 平成18年度平均		全国自治体病院協議会会員 平成19年度平均	
						T町国保病院	同規模病院	病床別	開設者別
						総病床/ 120床	総病床/ 100～199床	一般/ 100～199床	市
入院診療単価	27,772	26,834	27,830	28,007	28,634	26,466	25,114	27,940	36,499
投薬	582	699	557	559	500	879	682		
注射	2,190	2,433	2,859	3,019	2,663	2,283	2,282		
処置及び手術	4,002	3,377	3,115	3,082	2,813	4,889	3,480		
検査	1,643	1,457	1,485	1,378	1,357	1,380	1,154		
放射線	788	668	827	792	766	955	752		
入院料	13,332	12,975	13,423	14,196	15,236	13,838	13,628		
給食	1,790	1,789	1,905	1,518	1,564	1,803	1,564		
その他	3,447	3,437	3,659	3,464	3,736	439	1,572		

（出典：総務省「地方公営企業年鑑」等）

■ 外来診療単価

当院の外来診療単価は上昇傾向にあるが、ベンチマーク病院であるT町国保病院（病床数120床）及び自治体立同規模病院（病床数100～199床）の平均及び全国自治体病院協議会会員の同規模病院（病床数100～199床）の平均は下回っている。

平成18年度の外来診療単価の内訳について、T町国保病院（病床数120床）及び自治体立同規模病院（病床数100～199床）の平均と比較すると、処置及び手術が低いものの、検査、その他は高い。なお、T町国保病院では、血液透析を行っていることには留意を要する。

（単位：円）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	自治体立病院 平成18年度平均		全国自治体病院協議会会員 平成19年度平均	
						T町国保病院	同規模病院	病床別	開設者別
						総病床/ 120床	総病床/ 100～199床	一般/ 100～199床	市
外来診療単価	5,703	6,867	7,376	7,383	7,460	7,791	8,148	8,259	9,786
投薬	113	161	282	157	133	4	1,740		
注射	312	355	498	433	600	1,361	520		
処置及び手術	308	236	214	210	214	2,886	1,057		
検査	1,819	1,796	1,942	1,865	1,876	1,324	1,503		
放射線	603	576	745	722	630	550	707		
初診料	246	264	284	314	306	374	341		
再診料	1,564	1,658	800	855	750	654	938		
その他	738	1,821	2,611	2,828	2,952	638	1,342		

（出典：総務省「地方公営企業年鑑」等）

⑤ 病床利用率と平均在院日数

当院の病床利用率は、平成17年度に71.5%と70%を超えたものの、その他の年度は概ね60%台後半であり、自治体立同規模病院（病床数100～199床）及び全国自治体病院協議会会員の同規模病院（病床数100～199床）の平均を下回っている。

当院の平均在院日数は、ほぼ横ばいで推移しており、自治体立同規模病院（病床数100～199床）の平均より短く、ベンチマーク病院であるT町国保病院（病床数120床）と同程度である。

（単位：％、日）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	自治体立病院 平成18年度平均		全国自治体病 院協議会会員 平成19年度平均	
						T町国保病院	同規模病院	病床別	開設者別
						総病床/ 120床	総病床/ 100～199床	一般/ 100～199床	市
病床利用率（一般）	65.0%	65.5%	71.5%	69.1%	68.5%	90.0%	73.9%	71.0%	78.0%
平均在院日数（一般）	19.2	20.9	20.2	19.0	19.1	19.4	22.2		

（注）同規模病院は市町村立病院のみで、都道府県立病院は含まれていない。
（出典：総務省「地方公営企業年鑑」等）

⑥ 救急患者

救急患者の動向をみると、当院は、匝瑳市のほか、横芝光町、多古町ほか周辺地域からも救急患者を受け入れており、2次救急医療機関として相応の役割を果たしていることが見て取れる。しかしながら、医師不足の影響等により、受入患者数が減少しているのが実態である。

なお、香取海匝医療圏全体では、3次救急を担っている国保旭中央病院が中心的な役割を担っているものと推察される。

	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
匝瑳市	1,821	61.6%	1,482	62.3%	1,489	64.1%	1,414	62.5%	1,270	59.6%
八日市場市	1,372	46.4%	1,228	51.6%	1,238	53.3%		0.0%		0.0%
野栄町	449	15.2%	254	10.7%	251	10.8%		0.0%		0.0%
横芝光町	485	16.4%	430	18.1%	408	17.6%	423	18.7%	402	18.9%
横芝町	282	9.5%	270	11.4%	228	9.8%		0.0%		0.0%
光町	203	6.9%	160	6.7%	180	7.8%		0.0%		0.0%
多古町	255	8.6%	104	4.4%	91	3.9%	98	4.3%	114	5.3%
（参考）三市町合計	2,561	86.6%	2,016	84.8%	1,988	85.6%	1,935	85.6%	1,786	83.8%
旭市	120	4.1%	93	3.9%	85	3.7%	96	4.2%	91	4.3%
他市町村	275	9.3%	269	11.3%	249	10.7%	230	10.2%	255	12.0%
合計	2,956	100.0%	2,378	100.0%	2,322	100.0%	2,261	100.0%	2,132	100.0%

（出典：国保匝瑳市民病院資料）

(2) 財政負担の状況

当院経営にかかる市の財政負担について、他会計繰入金の標準財政規模比（一部事務組合は構成自治体の標準財政規模の合計比）を算出し、病院を設置している自治体の中での相対的な負担の度合いを見てみる。当院の場合、現在、病院債の繰上償還に伴う再建計画に基づき、元利金の償還分を全て一般会計で負担しており、また、元金償還分についても全て収益的収入他会計繰入金として繰り入れしている（基準外繰り入れ）。

このため、収益的収入に資本的収入を加えた他会計繰入金合計額の標準財政規模比で見ると、病院を設置している市町村（一部事務組合を含む）の単純平均が 3.99% であるのに対し、3.95% とほぼ同じ負担水準になっている。

さらに、1 床当たりの他会計繰入金あるいは 1 病院あたりの他会計繰入金（金額）を見ると、市町村平均より小さい。

千葉県内での、他会計繰入金合計額の標準財政規模比による相対的な負担水準を見ると、22 団体のうち負担の軽い方から 18 位である。因みに、自治体単位での修正医業収支比率は 7 位になっている。

また、同規模の病床数（157 床から 110 床程度へ削減することを考慮して、90～110 床を比較対象とした）を保有する自治体（全国）の中の他会計繰入金合計額の標準財政規模比を見ると、54 団体のうち負担の軽い方から 32 位と、平均的な水準より負担は重いようである。

■ 財政負担状況（平成 18 年度）

	当院		市町村平均値		ランキング順位			
	金額	標準財政規模比	金額	標準財政規模比	全自治体	市町村内	千葉県	同規模病院保有自治体
他会計繰入金								
収益的収入	334,004	3.73%	484,816	3.00%	508 / 668	462 / 622	18 / 22	39 / 54
資本的収入	20,157	-----	180,375	-----	-----	-----	-----	-----
計	354,161	3.95%	665,191	3.99%	423 / 668	379 / 622	18 / 22	32 / 54
修正医業収支比率 (%)	87.7%	-----	84.4%	-----	289 / 668	280 / 622	7 / 22	11 / 54

（資料：総務省「平成 18 年度地方公営企業年鑑」等）

■ 一床あたり他会計繰入金の状況（平成 18 年度）

	当院		市町村平均値		ランキング順位			
	金額	保有床数	1床あたりの繰入金金額	保有床数	全自治体	市町村内	千葉県	同規模病院保有自治体
他会計繰入金								
収益的収入	2,127	157	1,919	266	443 / 668	348 / 622	12 / 22	33 / 54
資本的収入	128		578		-----	-----	-----	-----
計	2,256		2,496		350 / 668	348 / 622	10 / 22	28 / 54

（資料：総務省「平成 18 年度地方公営企業年鑑」等）

■ 一病院あたり他会計繰入金の状況（平成 18 年度）

	当院		市町村平均値		ランキング順位			
	金額	保有病院数	金額	保有病院数	全自治体	市町村内	千葉県	同規模病院保有自治体
他会計繰入金								
収益的収入	334,004	1	378,645	1.2	525 / 668	479 / 622	18 / 22	40 / 54
資本的収入	20,157		136,407		-----	-----	-----	-----
計	354,161		515,052		452 / 668	406 / 622	18 / 22	33 / 54

（資料：総務省「平成 18 年度地方公営企業年鑑」等）